



# DINAMICA

Compact Full Automatic Coffee Machine

デロンギ  
ディナミカ  
コンパクト全自動コーヒーマシン

型式番号

# ECAM35055

家庭用

※本体の型式番号「ECAM35055」の後に続く  
アルファベットは、色番号を表すものです。



## 取扱説明書（保証書付）

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

## 目次

使う前に	安全上のご注意	2
	はじめにご確認ください	4
	各部のなまえとはたらき	5
	このマシンで作れるドリンクメニュー	9
	初めてお使いになる前に	10
	おいしいエスプレッソのために	13
基本の使いかた	コーヒーマシンの準備	14
	コーヒー豆から抽出する	15
	コーヒー粉から抽出する	17
	カプチーノの作りかた	18
応用編	定量設定のしかた	21
	より熱いコーヒーや ミルクメニューをいれるには	23
	その他のメニューを抽出する	24
こんなときは	プログラムモード	26
	お手入れ	31
	表示一覧	38
	故障かな？	39
	仕様	41
	アフターサービス	42
	保証書	43

# 安全上のご注意〈必ずお守りください〉

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの

**警告**



誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

**注意**

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。



**警告**



## 定格 15 A (100 V) のコンセントを単独で使用する

(火災、感電の原因)

- ※ ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しないでください。
- ※ 海外など異なる電源電圧の地域で使用しないでください。(日本国内専用)

## 電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

## 電源プラグやコンセントのほこりは定期的に乾拭き掃除をする

(火災の原因)

## 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災、感電の原因)

## 異常、故障時には直ちに使用を中止する

(火災、感電、やけどの原因)

〈異常、故障例〉

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
- 異常な音やにおいがする
- 本体に破損や変形がある
- 本体から水や蒸気が漏れる

異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

## しっかり固定された平らな場所に設置する

(やけど、けがの原因)

- ※ 設置の方法は 4 ページ参照



## 本体や電源プラグ・コードに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたりしない

(火災、感電の原因)

誤って水をこぼしてしまった場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

## 濡れた手で本体を触ったり、電源プラグを抜き差ししない

(感電の原因)

## 動作中に電源プラグを抜き差ししない

(火災、感電の原因)

## 電源プラグ・コードを破損させない

(火災、感電の原因)

- 傷付けたり、加工したり、加熱したりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
- コードを引っ張って本体を移動させない

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

## 分解、修理、改造をしない

(火災、感電、やけどの原因)

## 警告



**子供など取り扱いに不慣れな方、介助を必要とする方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない**

(火災、感電、やけど、けがの原因)

※ 本製品は、安全に関する知識や経験が少ない方の使用は想定しておりません。お子様、乳幼児、取り扱いに不慣れな方が近くにいるときは、必ず操作できる大人が付き添ってください。また、子供が機器（電源コード含む）で遊ばないように監視してください。



**穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない**

(火災、感電、けがの原因)

※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

**蒸気孔に顔や手などを近づけない**

(やけどの原因)

- 使用中および使用後しばらくは抽出口やスチーム管、ミルクノズル、給湯ノズルに触れない

**豆ホッパー（グラインダー）に液体を入れない**

(火災、感電の原因)

安全上のご注意

## 注意



**長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く**

(火災の原因)

**お手入れは必ず各部が冷えてから行う**

(やけど、けがの原因)



**使用中および使用後しばらくは抽出口やミルクノズル、給湯ノズルに触れない**

(やけどの原因)

- 抽出中やお湯、蒸気を出している最中に抽出口や蒸気が出るところに顔などを近づけない

**お手入れのとき以外は豆ホッパーの中に指などを入れない**

(けがの原因)

**本製品を業務用で使用しない**

(火災、感電の原因)

※ 本製品は次の用途を含む家庭用電気製品です。使用者が必要なときに読めるよう、手の届く所に本書を保管してください。

- ・店舗、事務所、仕事場などのスタッフ用キッチン
- ・ファームハウス
- ・ホテル、旅館、民宿などの宿泊施設



**他の用途で使用しない**

(火災、感電、けがの原因)

**火気の近くや直射日光が長時間あたる場所で使用しない**

(火災、感電の原因)

- 熱源の近くで使用しない
- 屋外や湿気の多い場所で使用しない

**抽出中や給湯中にトレイを取り外さない**

(やけどの原因)

# はじめにご確認ください

## 「安全上のご注意」を確認する

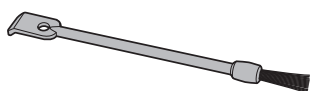
本体を設置する前に「安全上のご注意」(2 ページ)をお読みの上、設置してください。

## 付属品を確認する

以下の付属品がすべて揃っているか確認してください。万が一、付属されていない場合は、お求めの販売店もしくは当社(42 ページ)にご相談ください。



計量スプーン



クリーニングブラシ



**水硬度チェッカー**  
初めてお使いになる  
ときに使用します。  
「水硬度の確認」(10  
ページ)をご覧ください。



ウォーター  
フィルター

マシン内部への石灰分  
の付着を軽減し、除石灰  
の頻度を少なくします。  
「ウォーターフィルターの  
取り付けかた」(11 ペー  
ジ)をご覧ください。



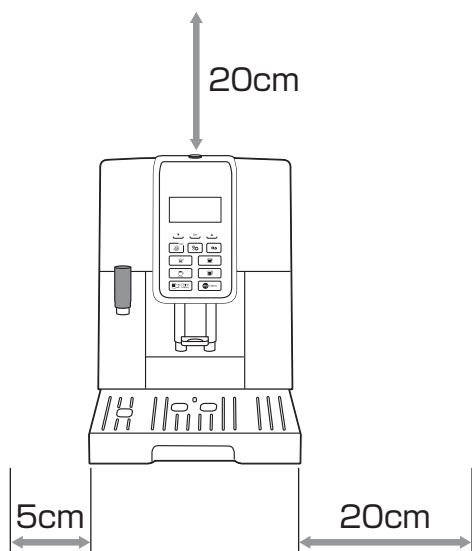
コーヒーマシン用  
除石灰剤

水に含まれる石灰成分  
を除去するために使用  
します。  
「石灰の除去」(36 ペー  
ジ)をご覧ください。

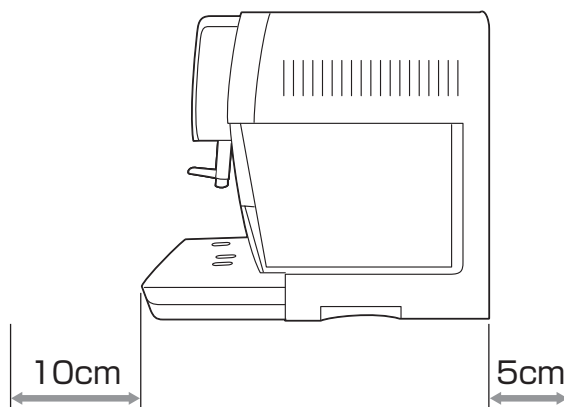
## 設置スペースを確認する

本製品は、左側、後部 5cm 以上、右側、上部 20cm 以上空けて設置してください。  
※室温が 0°C 以下になる場所に設置しないでください。(故障の原因)

[本体正面]



[本体側面]





# 各部のなまえとはたらき



ご使用前に保護フィルムなどを取り除いてください。

本製品は、実際に工場で1台1台水と豆を使った抽出試験を行って出荷されています。そのため本体内部に水滴跡やコーヒーのカスが付着していることがあります。ご了承ください。ご使用前に「お手入れ」(31ページ)をお読みの上、各部を洗ってください。

## 本体天面

豆ホッパーふた

豆ホッパー

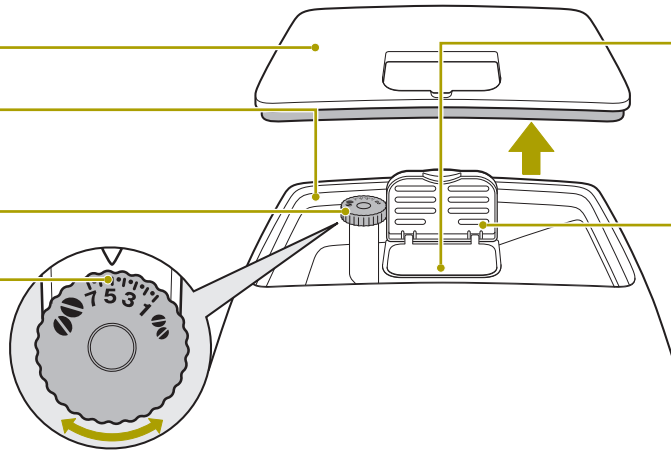
コーヒー豆を入れます。

グラインダーノブ

豆の挽き具合を調整します。  
(16ページ)

挽き具合

粗め 細かめ



パウダー投入口

コーヒー粉を入れます。

パウダー投入口ふた

すき間はふさがらないでください。  
(故障の原因)

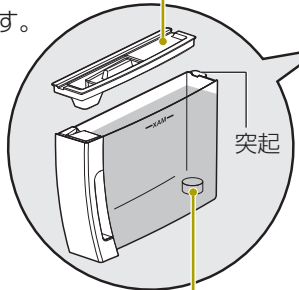
## 本体側面

水タンク

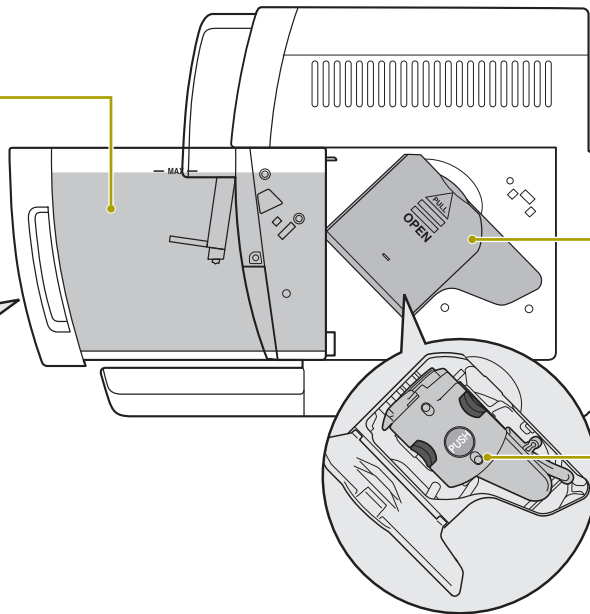
手前に引き出すと取り外せます。  
MAX表示=1.8L

水タンクふた

取り外せます。



ウォーターフィルター  
取り付け口



抽出ユニットふた

抽出ユニットを取り外す際に開けます。

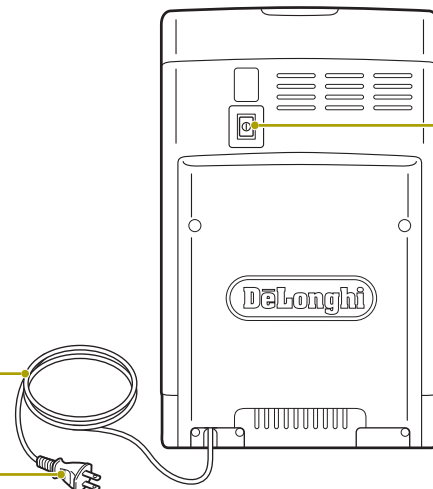
抽出ユニット

赤いボタン(2箇所)をつまみながら手前に引くと、外れます。

## 本体背面

電源コード

電源プラグ



主電源スイッチ

主電源の入/切をします。

入：  
主電源を入れた状態

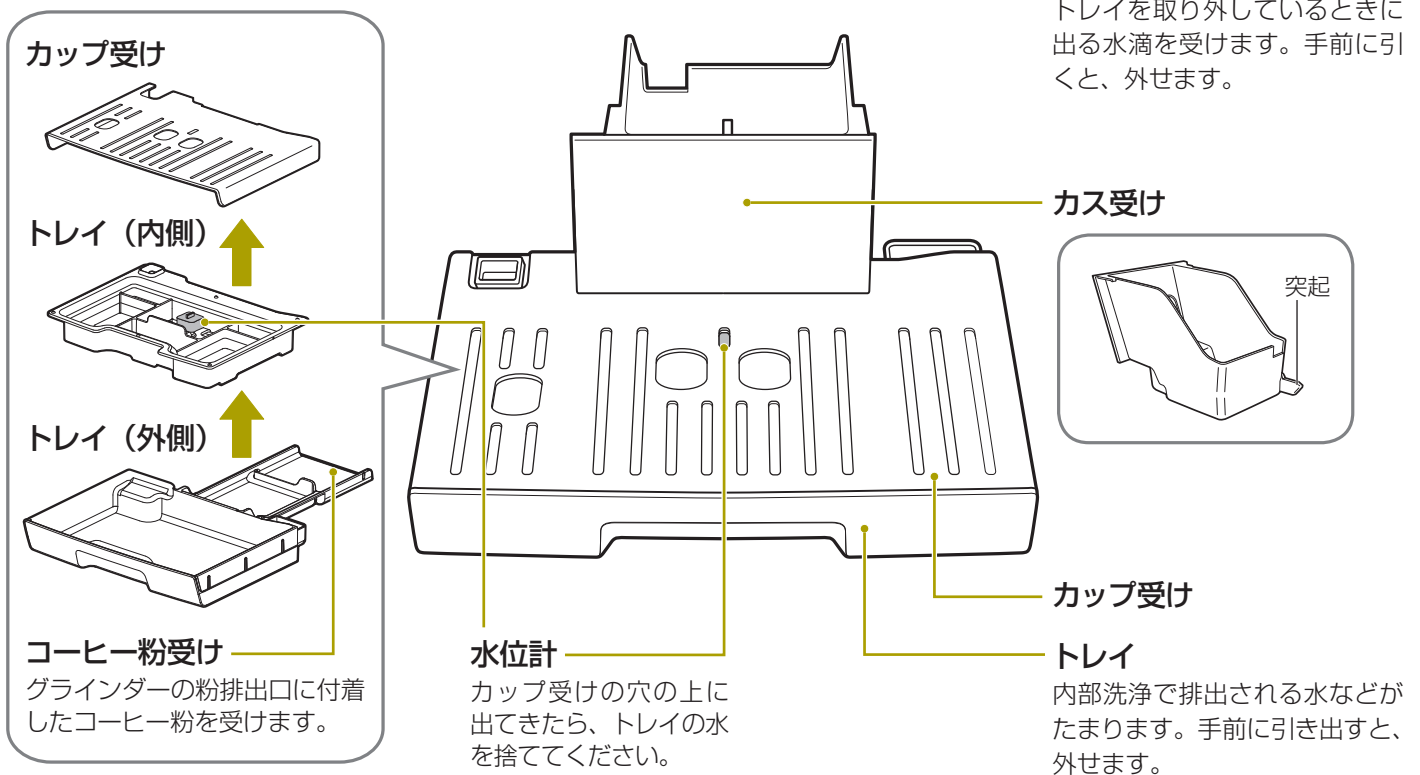
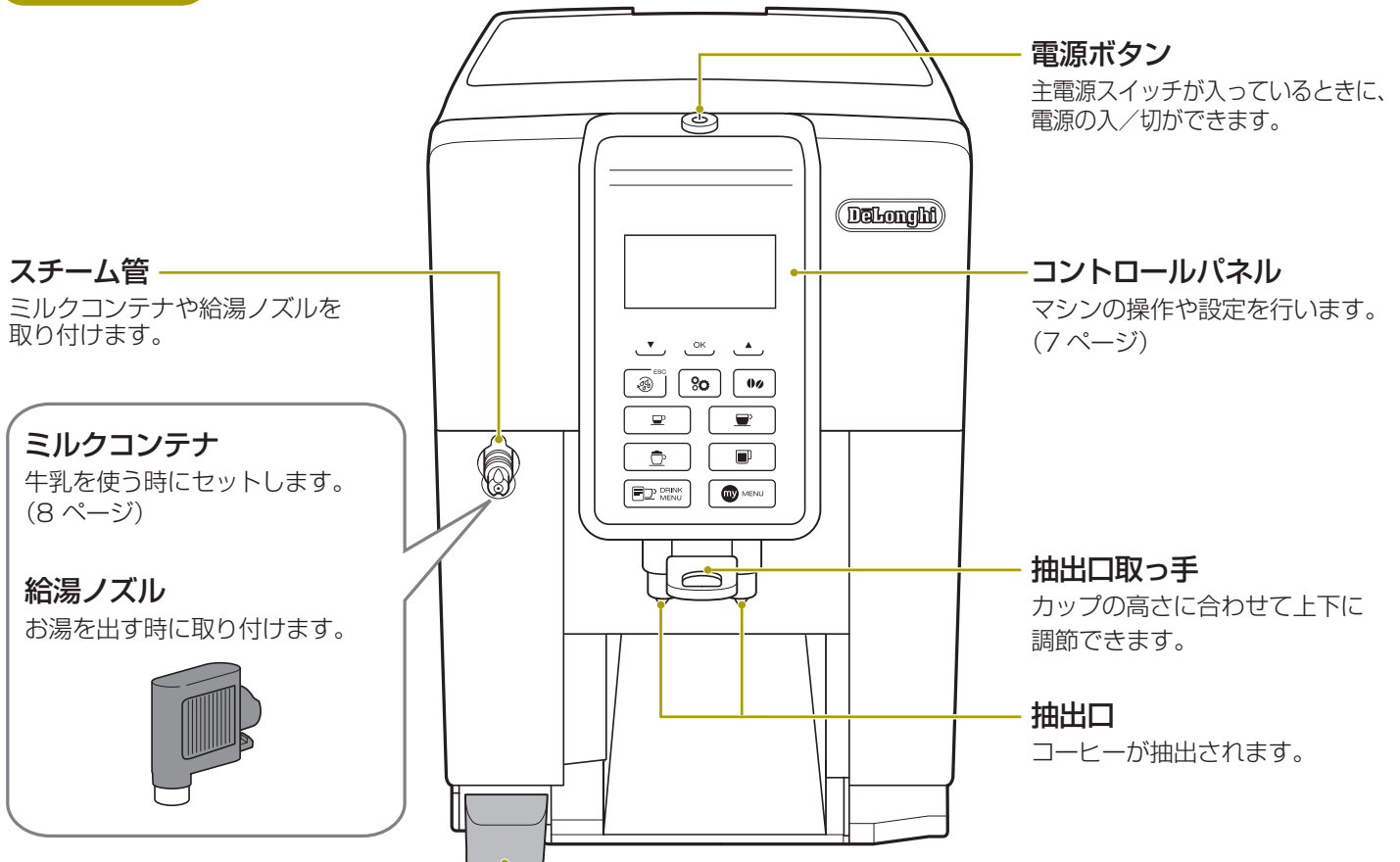
切：  
主電源を切った状態

お読みください

各部のなまえとはたらき

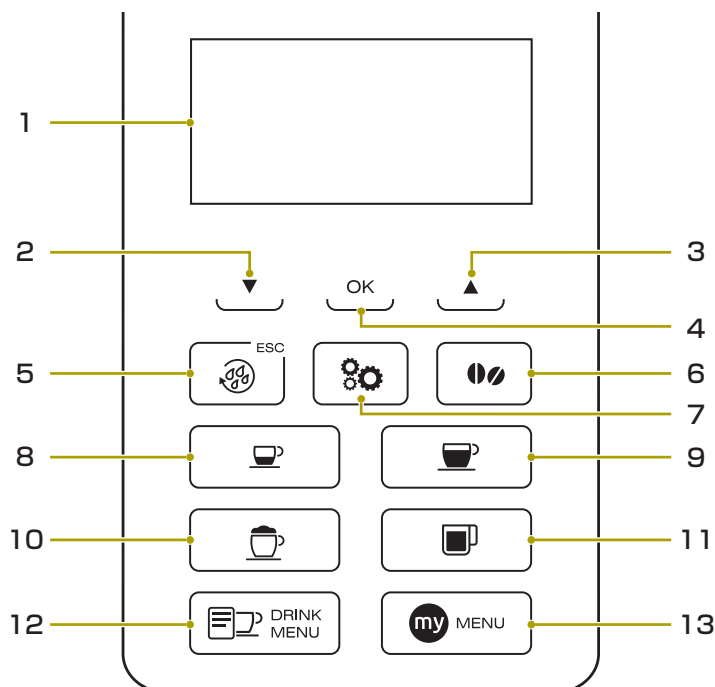
# 各部のなまえとはたらき (つづき)

## 本体正面



## コントロールパネル

※ ボタンはタッチセンサー式です。



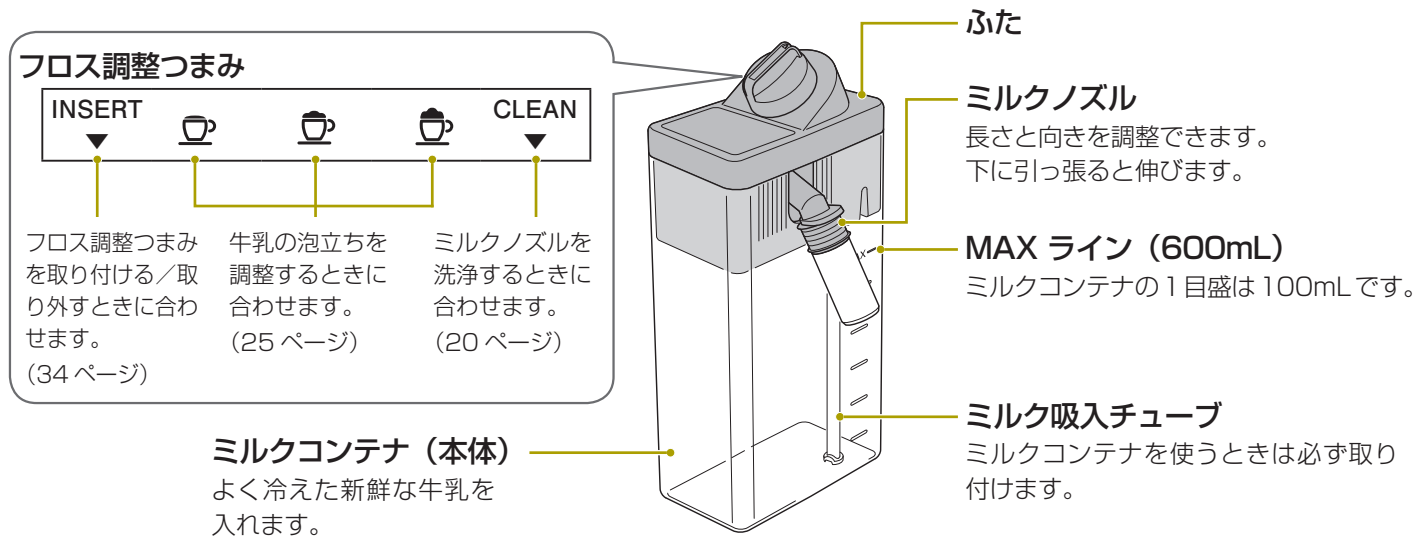
番号	名称	説明	番号	名称	説明
1	液晶ディスプレイ	本体の設定や状態をテキストで表示します。(38 ページ)	8	エスプレッソボタン	エスプレッソを抽出します。(15 ページ)
2	▼ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定メニューを進めます。</li> <li>● 定量設定時、ディスプレイに ESC と表示されている場合、操作をキャンセルします。</li> </ul>	9	スペシャルティボタン	スペシャルティを抽出します。(15 ページ)
3	▲ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定メニューを戻します。</li> <li>● ディスプレイに STOP と表示されている場合、抽出を中止します。</li> </ul>	10	カプチーノボタン	カプチーノを抽出します。(18 ページ)
4	OK ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 操作を確定します。</li> <li>● エスプレッソ、ロングコーヒー、エスプレッソラージを抽出開始直後、ディスプレイに ×2 と表示されている場合、2 杯抽出します。</li> </ul>	11	カフェ・ジャポアーネボタン	カフェ・ジャポアーネを抽出します。(15 ページ)
5	内部洗浄／ESC ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部洗浄を行います。</li> <li>● プログラムモードのときに操作をキャンセルし、メインメニューに戻ります。</li> </ul>	12	ドリンクメニューボタン	エスプレッソラージ、ロングコーヒー、ドッピオ+、ラテマキアート、カフェラテ、フラットホワイト、ミルク、エスプレッソ×2、エスプレッソラージ×2、ロングコーヒー×2、給湯の中からメニューを選んで抽出します。(15、24 ページ) ※×2 は 2 杯抽出です。
6	豆量調整ボタン	コーヒーの濃さ(豆の量)を調整します。(14 ページ)	13	マイメニューボタン	マイエスプレッソ、マイスペシャルティ、マイエスプレッソラージ、マイロングコーヒー、マイドッピオ+、マイカプチーノ、マイカフェ・ジャポアーネ、マイラテマキアート、マイカフェラテ、マイフラットホワイト、マイミルクの中からメニューを選んで設定、抽出します。(22 ページ) 未登録のときは設定を登録します。
7	設定ボタン	プログラムモードへの切り替えをします。(26 ページ)			

各部のなまえとほたらき(つじき)

# 各部のなまえとはたらき (つづき)

## ミルクコンテナ

カプチーノなどのミルクメニューを作るときにスチーム管に取り付けます。



# このマシンで作れるドリンクメニュー

日本語対応ディスプレイを搭載したコントロールパネルをタッチするだけの簡単スマート操作で、お好みのコーヒーが楽しめます。

## ☕ コーヒーメニュー

メニュー	説明	ボタン	初期設定	設定範囲	2杯抽出
			抽出量 濃さ	抽出量 濃さ	
エスプレッソ	イタリアの伝統的コーヒーの代表格。 濃厚で深い味わいの香り豊かなコーヒー。		約 30mL スタンダード	約 30 ~ 180mL EX マイルド ~ EX ストロング	可
スペシャルティ	フルーティー *1 なライトコーヒー機能。 豆のテロワール *2 を最大限に表現し、すっきりした 繊細な味わいを演出。		約 180mL スタンダード	約 100 ~ 240mL EX マイルド ~ EX ストロング	-
カフェ・ ジャポネ	深蒸しレギュラーコーヒー機能。 豆をハンドドリップしたように蒸らしながら抽出。 芳醇な香りと旨味を実現。		約 180mL スタンダード	約 115 ~ 250mL EX マイルド ~ EX ストロング	-
エスプレッソ ラージ	エスプレッソをたっぷりと楽しみたいときに。		約 40mL スタンダード	約 40 ~ 180mL EX マイルド ~ EX ストロング	可
ロング コーヒー	デロンギのコーヒーメニューで最もベーシックな 本格レギュラーコーヒー。		約 120mL スタンダード	約 100 ~ 180mL EX マイルド ~ EX ストロング	可
ドoppio+	コーヒー豆を贅沢に使用し、香り高く濃密な コーヒーを抽出。 力強い風味で余韻が長く続くのが特長。		約 120mL EX ストロング (00000+)	約 80 ~ 180mL 変更不可	-

\*1 ご使用される豆によっても感じ方は異なります。

\*2 産地特徴

※ 1杯抽出時の設定です。

※ から選択するときは、 を押し、 または を押してメニューを選択します。(24 ページ)

## ☕ ミルクメニュー

メニュー	説明	ボタン	初期設定	設定範囲	フロス調整 つまみ (おすすめ的位置)
カプチーノ	"イタリアの僧侶の頭巾" という意味から名付けられたカプチーノ。エスプレッソに泡立てたミルクをたっぷり加えて作ります。		牛乳 120mL コーヒー 30mL	牛乳 20 ~ 250mL コーヒー 30 ~ 180mL	 (最大)
カフェラテ	エスプレッソにたっぷりのスチームミルクを加え、仕上げに少量のフロスマルクを表面に浮かび上がるように注いだ一杯です。		牛乳 150mL コーヒー 30mL		 (最小)
ラテマキアート	マキアートはイタリア語で"染み"。 エスプレッソにフロスマルクを注いだもの。		牛乳 150mL コーヒー 30mL		 (中)
フラット ホワイト	エスプレッソに、きめ細やかに泡立てたミルクを注いで作る、オーストラリアやニュージーランドで人気のメニューです。コーヒーの味が強いのが特徴です。		牛乳 120mL コーヒー 60mL		 (中)
ミルク	フロスの調整に合わせて、泡立てたミルクや温かいミルクを作ることができます。		牛乳 100mL	牛乳 20 ~ 250mL	 (最大 ~ 最小)

※ から選択するときは、 を押し、 または を押してメニューを選択します。(25 ページ)

各部のなまえとほたらき (つづき)

このマシンで作れるドリンクメニュー



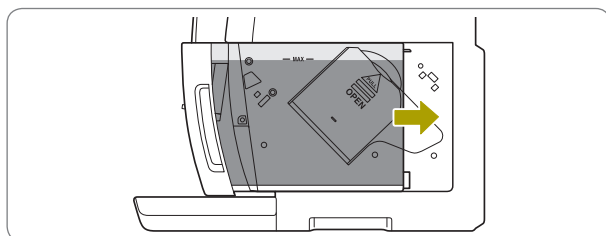
# 初めてお使いになる前に

初めてお使いになるときは、必ず「空気抜き」と「水硬度の設定」を行ってください。

## 空気抜き

**1** 水タンクの MAX の目盛まで水を入れ、ふたをする

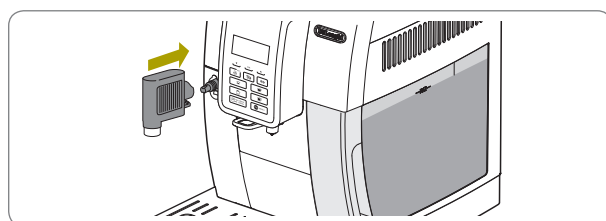
**2** 水タンクを本体にセットする



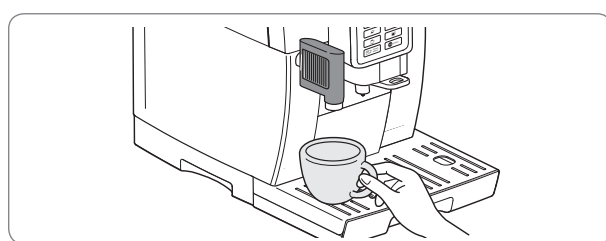
※ しっかり奥まで差し込んでください。

※ 水タンクを破損させないように、取り扱いに注意してください。水漏れや動作不良の原因になります。

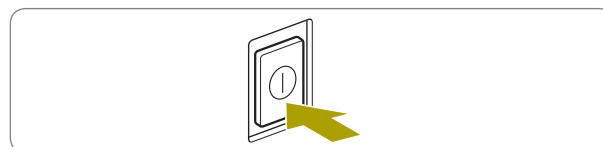
**3** 給湯ノズルをセットする



**4** 給湯ノズルの下に容量 100mL 以上のカップを置く

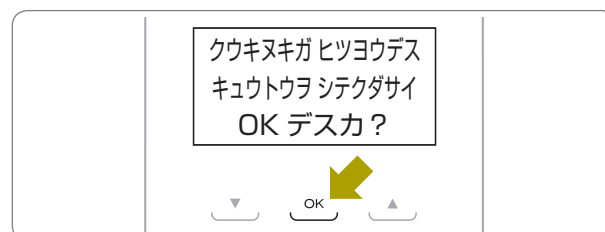


**5** 電源プラグをコンセントに差し込み、本体背面の主電源スイッチを入れる



※ 「ゲンゴセットイ ニホンゴ」と表示された場合は **OK** を押してください。

**6** **OK** を押す



給湯ノズルから水が出ます。

※ 水を吸い上げるときに大きな動作音がしますが、異常ではありません。

※ 「キュウトウ シバラクオマチクダサイ」の表示が消え、自動的に電源が切れたら空気抜きの完了です。

初めてお使いになるときは、続いて水硬度を確認してください。

※ カップの水を捨ててください。

### 知っておいていただきたいこと

普段の使用時に大きな音がしてコーヒーやお湯が出ない場合は、本体の水経路に空気が入っている可能性があります。その場合は、空気を抜くために給湯を行ってください。(23 ページ)

## 水硬度の確認

初めてお使いのときは、ご使用になる水の水硬度に合わせて機器を調整します。

※ お買い上げ時は、レベル 1 に設定されています。

1. 水硬度チェッカーを、コーヒーを入れるときに使う

水に約 1 秒間浸して取り出す

2. 軽く振って約 1 分待つ

3. ピンク色になった四角の数を確認する

レベル 1

レベル 2

レベル 3

レベル 4

※ レベル 2 以上のときは、**☞** を押してプログラムモードに切り替え、設定してください。(28 ページ)

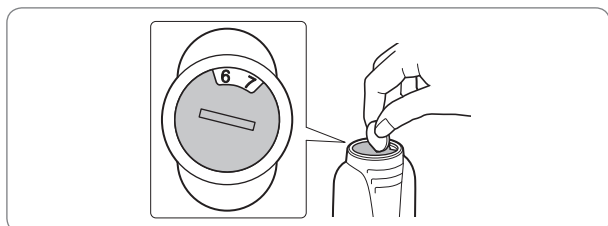
※ 本製品では、石灰の除去(除石灰)が必要になると、ディスプレイでお知らせする機能があります。水硬度の設定をしておくと、適切なタイミングで石灰除去のお手入れをご案内します。(36 ページ)

## ウォーターフィルターの取り付けかた



- ・ 湿気の少ない冷暗所で保管し、開封後はすぐに使用する
- ・ 石灰の除去をする前に取り外す

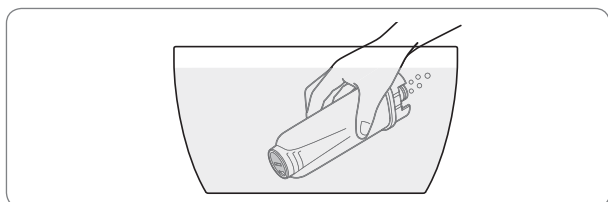
- 1** フィルター上部のカレンダーディスクを回し、数字（使用開始月）を左側に合わせる



※左（6月）が使用開始月で、右（7月）が次の交換月の目安です。

- 2** フィルター全体を流水でよく洗う

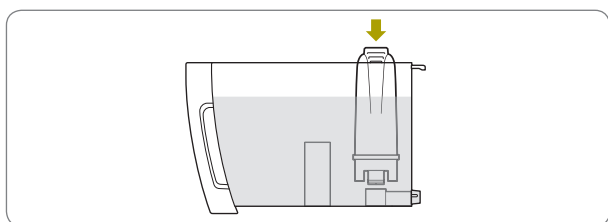
- 3** 水を入れた容器にフィルター全体を沈め、フィルター内部に水を入れる



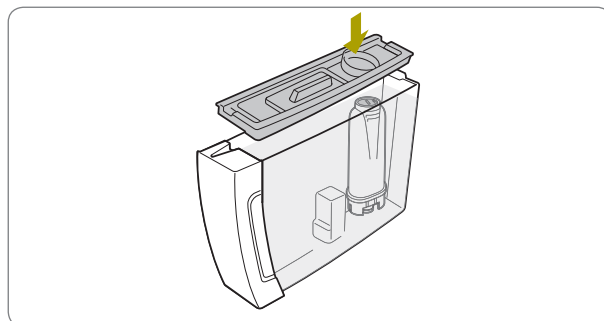
※フィルターから気泡が出なくなるまで、しっかり空気を抜いてください。

- 4** 水タンクに水を入れる




- 5** 水タンクのウォーターフィルター取り付け部に奥までしっかり差し込む






- 6** 水タンクにふたをして、本体にセットする




- 7**  を押してプログラムモードにする

- 8**  または  を押して「メンテナンス」と表示されたら、 を押す

- 9**  または  を押して「フィルター リセット」と表示されたら、 を押す

- 10** 「OK デスカ?」と表示されたら、 を押す

- 11** 「キュウトウ OK デスカ?」と表示されたら、容量 500mL 以上の容器を給湯ノズルの下に置き、 を押す


- 12** 給湯が始まり、自動で止まる

※「メニュー エラブ」と表示されたら完了です。

初めてお使いになる前に

### フィルターの交換について

以下のようなときは、交換が必要です。

- ・ ディスプレイに「フィルターコウカン」 と表示された
- ・ 使用開始から 2 か月たった（カレンダーディスク 手順 **1** 参照）
- ・ 本製品を 3 週間以上使用しなかった

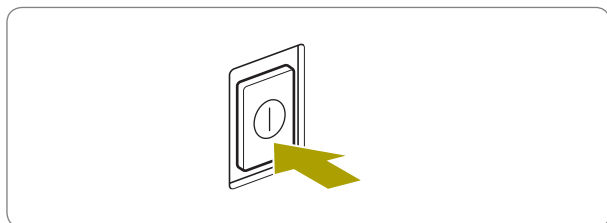
※石灰の除去を行う際には、必ずフィルターを取り外してください。

すぐ交換するときは  を押し、上記手順 **9** で「フィルターコウカン」を選択する  
あとで交換するときは、 を押してキャンセルする

# 初めてお使いになる前に (つづき)

## 電源を入れる (自動内部洗浄)

- 1** 電源プラグをコンセントに差し込み、本体背面の主電源スイッチを入れる



- 2** ①を押す

※「ヨネツチュウ シバラクオマチクダサイ」、「ナイブセンジョウ」と表示されて自動で内部洗浄が始まり、抽出口からお湯が出ます。



熱湯が出るので注意する  
(やけどの原因)

※ 内部洗浄中は、操作できません。

※ 進み具合をインジケーターでお知らせします。

ナイブセンジョウ



※ 予熱が完了すると、「ヨネツチュウ シバラクオマチクダサイ」の表示が消え、「メニューヲエラブ」と表示されます。

## 電源を切る (自動内部洗浄)

- 1** ①を押す

自動で内部洗浄が始まり、抽出口からお湯が出ます。「デンゲン OFF シバラクオマチクダサイ」の表示が消えたら、電源が切れます。

- 2** 本体背面の主電源スイッチを切る

※ ①で電源を切る前に、主電源を切らないでください。

※ 長期間使わない場合は、主電源を切った後、電源プラグを抜いてください。

### 内部洗浄について

電源を入/切すると自動で内部洗浄が始まり、本体内部の水経路が洗浄されて抽出口からお湯が出ます。

※ 本体が温まっているときは、自動で内部洗浄されないことがあります。

※ コーヒーを1杯も抽出せずに電源を切ると、自動内部洗浄はされません。

※ 内部洗浄を行うと、カス受けに水が溜まる場合がありますが異常ではありません。2日以上使用しなかった場合、2~3回手動内部洗浄を行うことをおすすめします。(23 ページ)

# おいしいエスプレッソのために

## おいしいエスプレッソとは

エスプレッソは「クレマ」という表面を覆う細かい泡ができます。理想的なクレマはクリーミーで、褐色または焦げ茶色に近いキャメル色をしています。グラニュー糖をのせてもすぐに沈まない厚みのあるクレマなら、エスプレッソの香りが閉じ込められ、また冷めにくくもなり、おいしいエスプレッソを楽しむことができます。

## 材料と道具



### コーヒー豆

エスプレッソ用として売られているものや、やや深煎りのコーヒー豆（ハイロースト、シティロースト、フルシティローストなど）がよいでしょう。挽いたコーヒー豆を使う場合は、極細挽きや細挽きが適しています。

お好みのコーヒー豆を選び、お気に入りの香りをお楽しみください。

※冷凍庫や冷蔵庫に入れていたコーヒー豆は、結露をなくすために室内にしばらく置き、室温に戻してからお使いください。（故障の原因）

※インスタントコーヒー、ココアパウダーやフレーバーコーヒーはお使いいただけません。（故障の原因）

#### <コーヒー豆に関するご注意>

過度に油分の多いコーヒー豆は、当マシンに適さない場合がございます。油分によってコーヒー豆同士がくっついたり豆ホッパーに付着したりしてしまいグラインダーに引き込まれにくい際は、豆ホッパーを乾いた布巾で拭く、もしくは油分の少ないコーヒー豆をご使用ください。

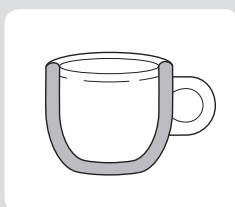


### 水

水道水や軟水（硬度：90mg/L 以下）のミネラルウォーターが適しています。

※硬水を使用するとカルキ分が詰まりやすくなります。

※ミネラルウォーターや浄水器を通した水は、残留塩素の殺菌効果がないため、カビなどが発生しやすくなります。衛生上、各部の定期的なお手入れ（31 ページ）を必ず行ってください。



### カップ

厚みがあり底がすぼまった形のものが冷めにくく、おすすめです。

エスプレッソには容量が 60mL 前後、カプチーノには高さ 14cm 以内で容量が 180mL 前後のものが適しています。抽出量の多いコーヒーをいれるときは、高さ 14cm 以内でそれぞれ抽出量に合った容量のカップをご用意ください。



### 牛乳

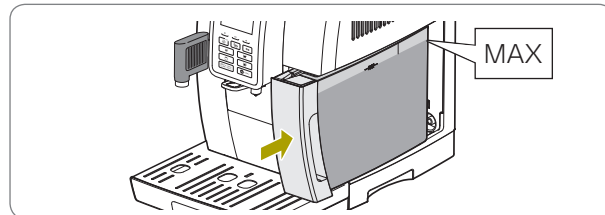
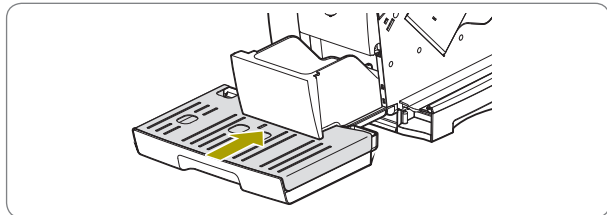
成分無調整で乳脂肪分 3.0% 以上の新鮮でよく冷えた牛乳をお使いください。

牛乳は使う直前まで冷蔵庫に入れておきましょう。

# コーヒーマシンの準備

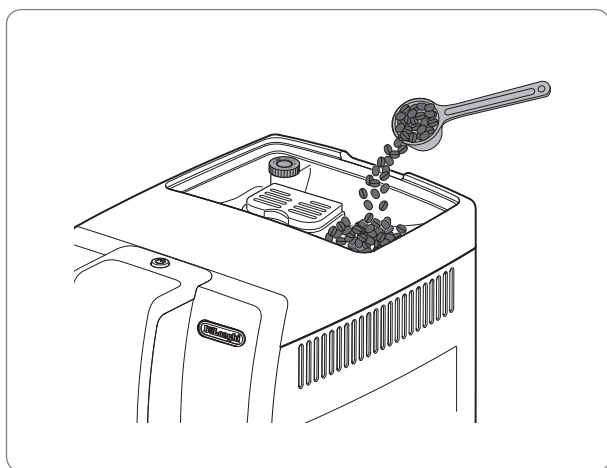
※ 必要な材料と道具については「おいしいエスプレッソのために」(13 ページ) をご覧ください。

## 1 カス受けとトレイを取り付け、水タンクの MAX の目盛まで水を入れてふたをし、取り付ける



## 2 豆ホッパーふたを開け、コーヒー豆を豆ホッパーに入れる

適量の豆で抽出するために、目安量より多めにコーヒー豆を入れてください。



### 目安量

- 1 杯のとき：約 6 ~ 11g
- 2 杯のとき：約 10 ~ 14g
- スペシャルティのとき：約 8 ~ 14g
- カフェ・ジャポネのとき：  
約 5 ~ 9g (抽出量が 120mL 以下のとき)  
約 10 ~ 18g (初期設定または抽出量が 120mL を超えるとき)
- ドッピオ+のとき：約 15g

※ 数値は目安です。お使いになるコーヒー豆の状態や粒度の設定によって、挽かれる豆の量は変わります。

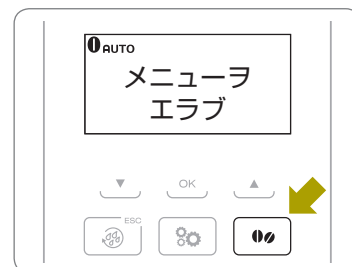
## コーヒーの濃さについて

**☕** を押してコーヒーの濃さ (豆の量) を設定する

- 押すたびに以下のとおり濃さが切り替わります。

初期設定	EX マイルド	マイルド	スタンダード	ストロング	EX ストロング	コーヒーパウダー
0 AUTO	00000	00000	00000	00000	00000	☕

薄い (少ない) ← 豆からの抽出 → 濃い (多い) 粉からの抽出時に選択



※ 初期設定はドッピオ+以外はスタンダードです。ドッピオ+は **00000+** と表示され、変更できません。

※ 設定は保存されず、次の抽出では初期設定での抽出となります。保存したい場合は「定量設定」(21 ページ) を参照してください。

※ 設定から抽出までしばらく経過した場合、初期設定で抽出します。

## 抽出量について

ボタン	☕	☕	☕	☕ DRINK MENU		
	エスプレッソ	スペシャルティ	カフェ・ジャポネ	エスプレッソラージ	ロングコーヒー	ドッピオ+
初期設定	約 30mL	約 180mL	約 180mL	約 40mL	約 120mL	約 120mL
設定範囲*	約 30 ~ 180mL	約 100 ~ 240mL	約 115 ~ 250mL	約 40 ~ 180mL	約 100 ~ 180mL	約 80 ~ 180mL

\* 設定範囲の中でお好みの量を登録できます。(21 ページ)

※ 抽出量は 1 杯抽出時の目安です。2 杯抽出時は約 2 倍の量が抽出されます。

※ スペシャルティ、カフェ・ジャポネ、ドッピオ+は 1 杯抽出のみとなります。

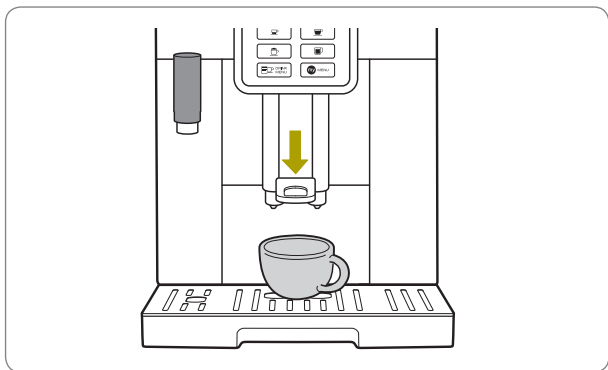


# コーヒー豆から抽出する

エスプレッソや、ハンドドリップのように豆を蒸らしながら抽出するカフェ・ジャポネなどをお楽しみになれます。  
 ※ 抽出する前に「コーヒーマシンの準備」(14 ページ) をご覧ください。

## 1 カップを置き、抽出口を下げてもカップに近づける

※ 抽出口をカップの壁面に近づけるほどコーヒーがクリーミーになります。



## 2 [豆] を押してコーヒーの濃さを選ぶ (14 ページ)

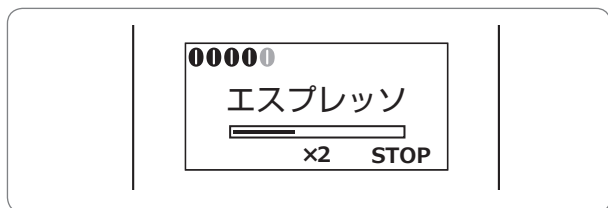
※ コーヒー豆からいれるときは、☕ (コーヒーパウダー) を選ばないでください。

※ [豆] を押してからしばらく経過すると、初期設定で抽出します。

## 3 お好みの抽出ボタンを押して抽出する



選択したメニューが表示され、進み具合をインジケーターでお知らせします。

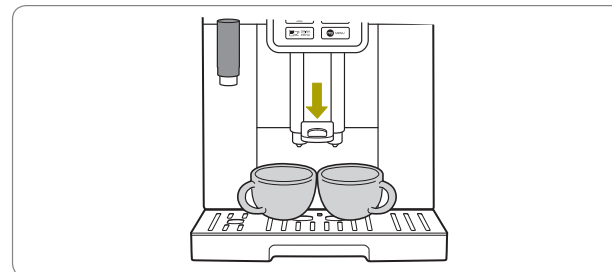


- カフェ・ジャポネを選択したときは、給湯・蒸らしを繰り返す間欠抽出を 2 回行います。定量設定で抽出量を 120mL 以下に設定した場合は 1 回抽出となります。
- エスプレッソラージ、ロングコーヒー、ドoppio+ を抽出したいときは、[DRINK MENU] を押します。詳しくは「その他のメニューを抽出する」(24 ページ) をご覧ください。

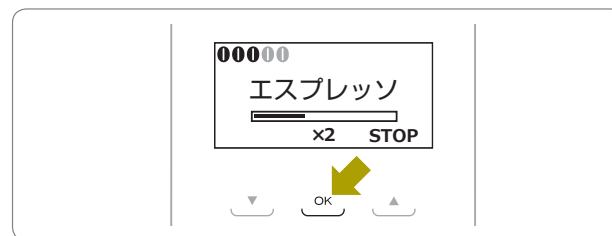
- 途中で止めたいときは、抽出中に [STOP] を押します。
- 抽出量を増やしたいときは、抽出終了後 2 秒以内に再度同じボタンを押すと、押し続けている間コーヒーが抽出されます。ボタンを離すと抽出が止まります。

### 2 杯抽出するとき

1. 手順 1 で、カップを 2 つ置く



2. 手順 3 で、抽出中に x2 が表示されているときに [OK] を押す



※ 2 杯抽出の場合、左右のカップに入るコーヒーの量に多少の差が生じることがあります。

※ スペシャルティ、カフェ・ジャポネ、ドoppio+ は 2 杯抽出できません。

※ [DRINK MENU] から 2 杯抽出を選択できます。

# コーヒー豆から抽出する(つづき)

## 豆の挽き具合の調整

通常はお買い上げ時の設定「5」のままお使いください。



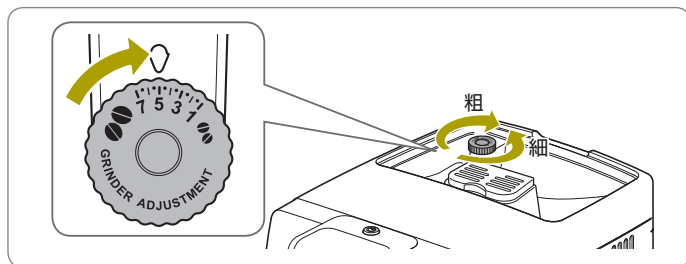
故障の原因となりますので、次のことをお守りください。

- ・ グライNDERノブは、豆が挽かれているとき(グライNDERが作動中のとき)のみ回す
- ・ グライNDERノブを回すときは、1度に1目盛以上回さない

豆の挽き具合は次の場合にのみ調整してください。

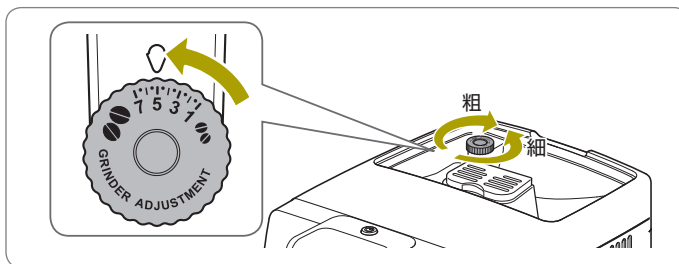
### ● コーヒーが抽出されない、または抽出が極端に遅い

グライNDERノブを粗いほう(時計回り)に1目盛回す



### ● コーヒーが薄い、またはもっとクリーミーにしたい

グライNDERノブを細かいほう(反時計回り)に1目盛回す



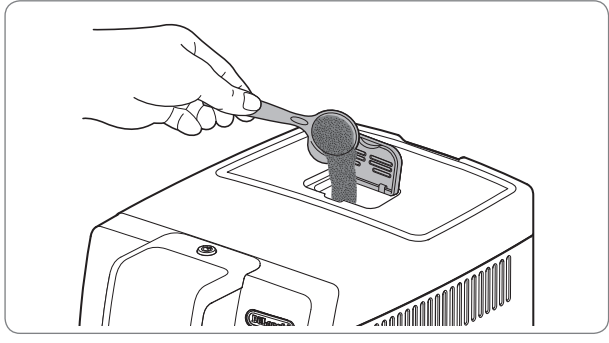
調整した後は、コーヒーを2杯以上抽出しないと効果が得られません。2杯以上抽出して効果が得られなかった場合は、もう一度調整してください。

# コーヒー粉から抽出する

※ 抽出する前に「コーヒーマシンの準備」(14ページ)をご覧ください。  
 ※ 本体の電源が入っていることをご確認ください。

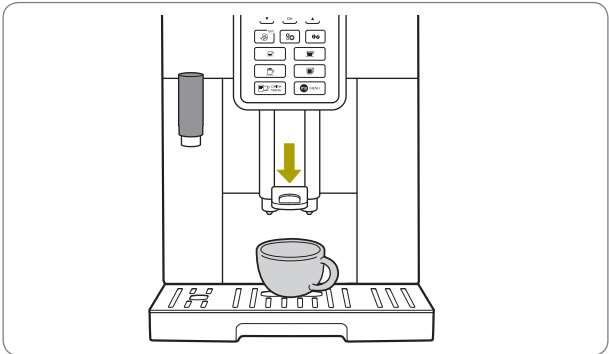
## 1 コーヒー粉をパウダー投入口に入れる

目安量：計量スプーンすり切り～山盛り1杯  
 (約6～11g)  
 最大量：計量スプーン山盛り1杯まで



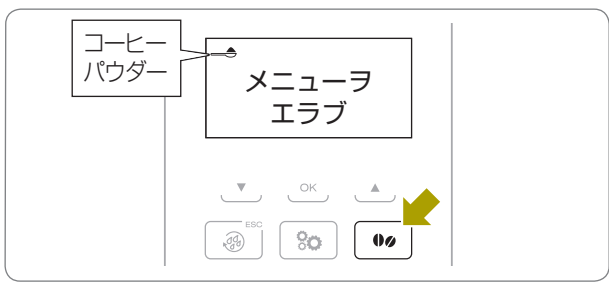
**!** 電源が切れているときにコーヒー粉を入れない(粉が内部で飛び散ります)

## 2 カップを置き、抽出口を下げてカップに近づける



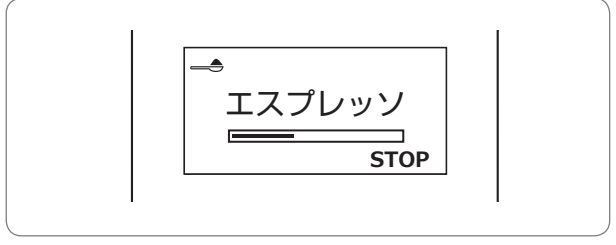
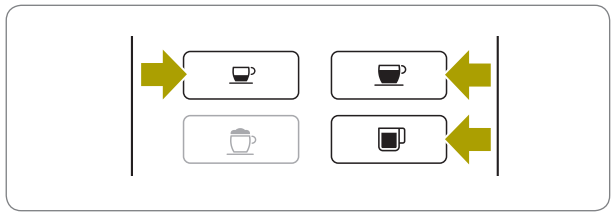
※ コーヒー粉から抽出するときは、1杯抽出のみとなります。

## 3 で (コーヒーパウダー) を選ぶ




※ 選んでからしばらく経過すると、豆からの抽出に戻ります。

## 4 お好みの抽出ボタンを押して抽出する





選択したメニューが表示され、進み具合をインジケーターでお知らせします。

- 途中で止めたいときは、抽出中に  を押します。
- 抽出量を増やしたいときは、抽出終了後2秒以内に再度同じボタンを押すと、押している間コーヒーが抽出されます。ボタンを離すと抽出が止まります。

**カフェ・ジャポネをいれるときは**

2回抽出するため、コーヒー粉を2度投入する必要があります。

1. **4**の手順で  を押す  
 ※ 給湯・蒸らしを繰り返す間欠抽出を行います。
2. 「コーヒーパウダーライレル」と表示されたら、新しいコーヒー粉をパウダー投入口に入れ、  を押す  
 ※ 2度目の抽出が始まります。(カップは置いたままにしてください)  
 ※ 定量設定で抽出量を120mL以下に設定した場合は1回抽出となります。  
 ※ 2杯抽出はできません。

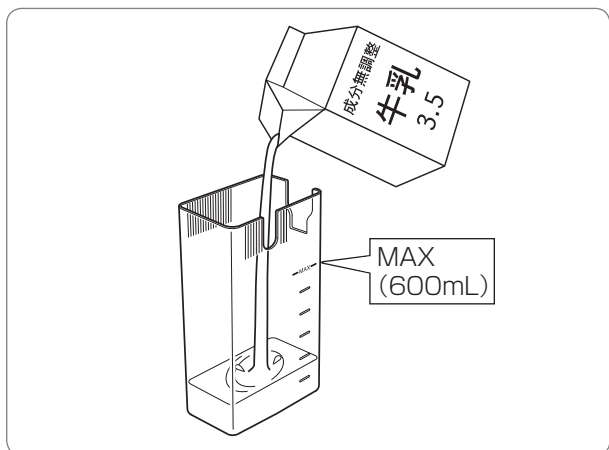
# カプチーノの作りかた

※ 抽出する前に「コーヒーマシンの準備」(14 ページ) をご覧ください。

## 1 必要な分量の牛乳をミルクコンテナに入れる

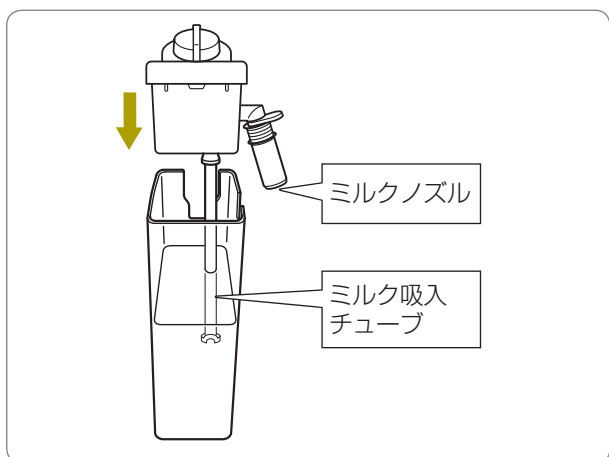
1 杯あたり 120 ~ 150mL 程度の牛乳が必要です。(41 ページ)

※ ミルクコンテナの 1 目盛は約 100mL です。

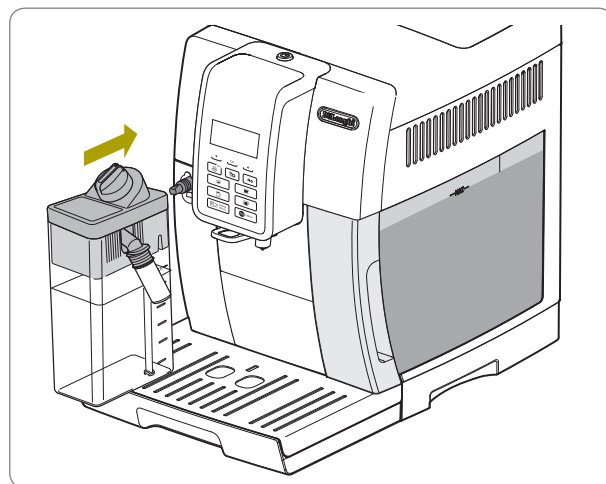


## 2 ふたにミルク吸入チューブが差し込まれていることを確認し、ふたをする

※ ミルクコンテナのノズルがコンテナの外に出るようにしてください。



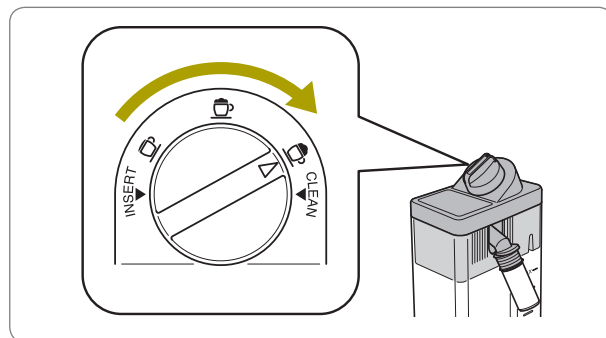
## 3 ミルクコンテナをスチーム管にしっかり差し込む



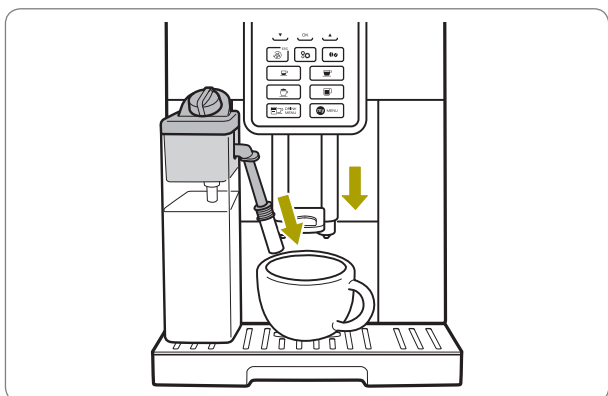
フロス調整つまみを取り外した状態で  
ミルクコンテナを本体にセットしない  
(やけどの原因)

## 4 ミルクコンテナのふたにある「フロス調整つまみ」の位置を 壺 に合わせる

※ お好みに応じて位置は調整してください。



## 5 カップを置き、ミルクノズルと抽出口を下げてカップに近づける



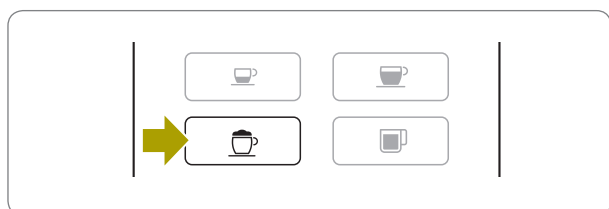
## 6 を押して、コーヒーの濃さ、または「コーヒーパウダー」を選ぶ

※ コーヒー豆から抽出する場合は、15 ページの手順 **2** をご覧ください。


※ コーヒー粉から抽出する場合は、17 ページの手順 **3** をご覧ください。

## 7 を押す

先にミルクノズルから牛乳が出て、その後にコーヒーが抽出されます。





※ 牛乳は 1 回あたり 250mL 以上抽出しないでください。

- 途中で止めたいときは、抽出中に  を押します。

「ツマミヲ CLEAN ニアワセル」と表示されたら、毎回必ずミルクノズルの洗浄をしてください。(20 ページ)

ツマミヲ CLEAN ニアワセル  
ESC : キャンセル

- ※  を押してキャンセルすると、ディスプレイの右上に  が表示され、洗浄が必要なことをお知らせします。

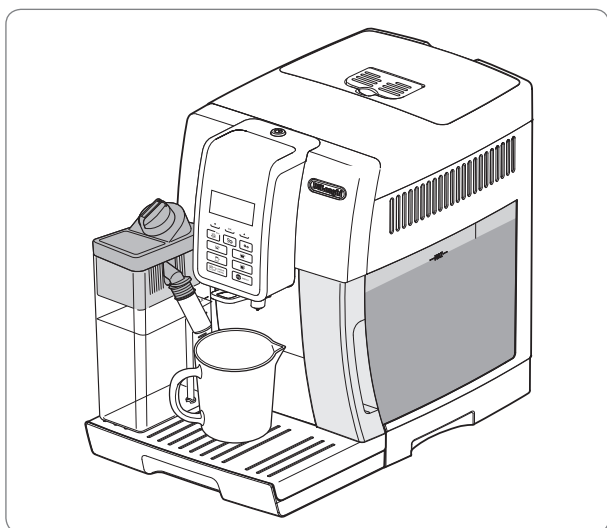


# カプチーノの作りかた (つづき)

## ミルクノズルを洗淨する

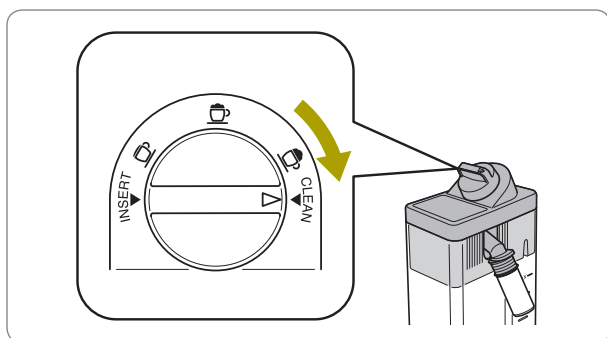
牛乳を泡立てたときは毎回行ってください。

- 1** ミルクコンテナを取り付けたまま、  
ミルクノズルの下に空の容器を置く



- 2** フロス調整つまみを「CLEAN」に  
合わせて、洗淨を開始する

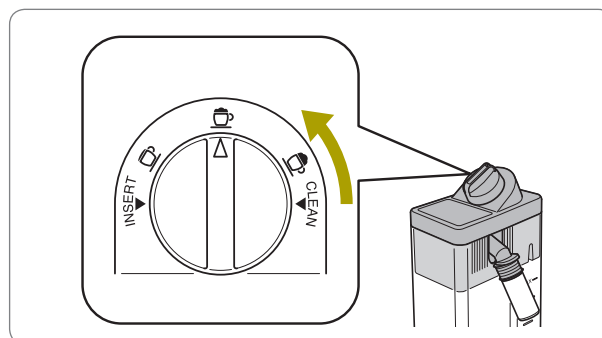
熱湯が出てミルクノズルを自動洗淨します。



※ インジケーターが最後まで進むと自動で停止します。

カンイセンジョウチュウ

- 3** フロス調整つまみを「CLEAN」の  
位置から ☉ ~ ☺ に戻す



衛生を保つため、次のことをお守りください。

- 一日の終わりには、ミルクコンテナに残った牛乳は必ず廃棄し、十分に洗淨してください。(34 ページ)
- すぐに廃棄しないときは、一時的にミルクコンテナを冷蔵庫に入れるなど、衛生面にご注意ください。
- 必ずスチーム管もお手入れしてください。(33 ページ) スチーム管に付いた牛乳が乾いてかたまってしまうと、故障の原因となります。

### <知っておいていただきたいこと>

以下の場合にトレイから蒸気が出たり、トレイにお湯が少量たまりますが、異常ではありません。

- 牛乳を泡立てた後
- フロス調整つまみを「CLEAN」に合わせてミルクノズルを洗淨した後  
※牛乳を泡立てた直後や、ミルクノズルを洗淨した直後に、トレイを引き出さない(お湯が漏れる原因)

# 定量設定のしかた

抽出ボタンにあるメニューについて、お好みのコーヒーの濃さと抽出量を登録できます。

## 抽出ボタンの定量設定

### コーヒーメニューの定量設定

1. を押して、プログラムモードにする



2. または を押して「メニューセッテイ」を選択し、 を押して確定する



3. 設定したいメニューを または 押し、 を押して確定する



※よく選ぶメニューが上位に表示されます。

4. または を押してコーヒーの濃さを選び、 を押して抽出する



※ドッピオ+は設定できません。

5. お好みの量のコーヒーが抽出されたところで を押す



※設定可能な量になるまで OK は表示されません。

6. 「セッテイシマスカ?」と表示されたら を押して設定を完了する



※設定しない場合は または を押します。

### カプチーノなどのミルクメニューの定量設定

1. コーヒーメニューの 1～3 の手順で設定したいメニューを確定する

2. または を押してコーヒーの濃さを選び、 を押す



3. お好みの量のミルクが抽出されたところで を押す



4. コーヒーの抽出が始まるので、お好みの量のコーヒーが抽出されたところで を押す



5. 「セッテイシマスカ?」と表示されたら を押して設定を完了する



※設定しない場合は または を押します。

※カプチーノなどミルクメニューの定量設定をした後は、必ずミルクノズルの洗浄をしてください。(20 ページ)

# 定量設定のしかた(つづき)

マイメニューボタンにあるメニューについて、お好みのコーヒーの濃さと抽出量を登録できます。



## の設定、抽出

初めて使う場合は設定が必要です。

### マイメニューを設定する

1. を押す
2. または を押して設定したいマイメニューを選択し、 を押して確定する



※よく選ぶメニューが上位に表示されます。

3. または を押して濃さを選び、 を押して抽出する



※マイドッピオ+は設定できません。

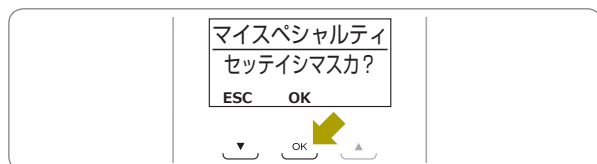
4. お好みの量のコーヒーが抽出されたところで を押す



※設定可能な量になるまで OK は表示されません。

※カプチーノなどのミルクメニューの設定のしかたは、「抽出ボタンの定量設定」(21ページ)を参照してください。

5. 「セッテイシマスか?」と表示されたら を押して設定を完了する



※設定しない場合は または を押します。

※設定したマイメニューを変更するときは、プログラムモードの「マイメニュー設定」から変更してください。(28ページ)

※ミルクメニューの定量設定をした後は、必ずミルクノズルを洗浄してください。(20ページ)

プログラムモードの「マイメニュー設定」からも設定できます。(28ページ)

### マイメニューを抽出する

1. を押す
2. または を押して抽出したいマイメニューを選択し、 を押して抽出する



※よく選ぶメニューが上位に表示されます。

※未設定のメニューを選択した場合、設定を開始します。

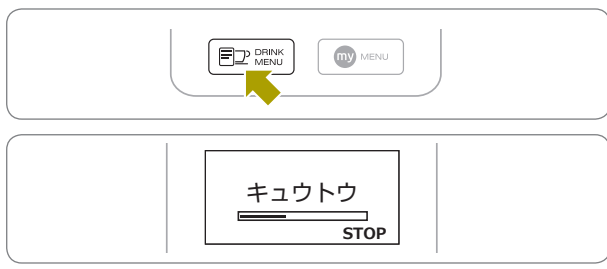
※マイエスプレッソ、マイエスプレッソラージ、マイロングコーヒーを設定済みの場合、それぞれ2杯抽出を選択できます。

# より熱いコーヒーやミルクメニューをいれるには

室温や使用する水の温度が低いときは、カップや本体内部を温めておきます。

## カップを湯煎する（給湯機能）

1. 給湯ノズルの下にカップを置く
2. を押し、 または を押して「キュウトウ」を選択し、 を押す。  
給湯ノズルからお湯が出ます。  
進み具合をインジケーターでお知らせします。  
※途中で止めるときは、 を押します。



**給湯の定量設定をするときは**

1. 21 ページ「抽出ボタンの定量設定」の手順3で「キュウトウ」を選択し、 を押して確定する
2. お好みの量が給湯されたところで を押す
3. 「セッテイシマスか？」と表示されたら を押して設定を完了する

## 抽出温度を高くする（抽出温度の設定）

コーヒーを抽出するときのお湯の温度を 4 段階から選ぶことができます。初期設定はレベル 2 です。

1. を押し、プログラムモードにする
2. または で「イッパン」を選択し、 を押して確定する
3. または で「オンドセッテイ」を選択し、 を押して確定する
4. または で温度レベルを選択し、 を押して確定する
5. を「メニューヲエラブ」が表示されるまで押し、プログラムモードを終了する



## 本体内部を温める（手動内部洗浄）

1. 容器を抽出口の下に置く
2. を押す  
給湯ノズルを取り付けているときは、給湯ノズルからもお湯が出るので、大きめの容器をカップ受けの上に置いてください。  
抽出口からお湯が出て、自動で止まります。  
※途中で止めるときは、 を押します。  
※容器のお湯は捨ててください。



## ミルクノズルを温める（ミルクノズルの洗浄）

20 ページをご覧ください。

# その他のメニューを抽出する

 から選択する

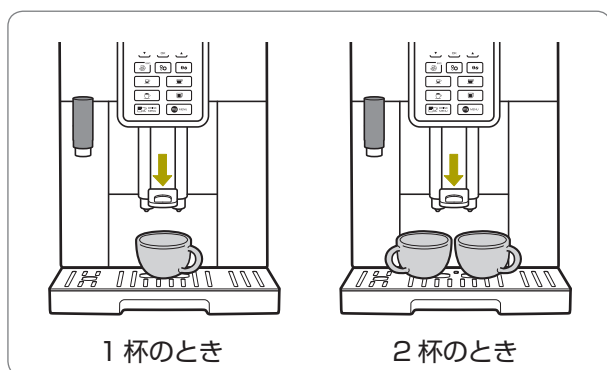
エスプレッソラージ、ロングコーヒー、ドッピオ+、カフェラテ、ラテマキアート、フラットホワイトなどをお楽しみになれます。

※ 抽出する前に「コーヒーマシンの準備」(14 ページ) をご覧ください。


## コーヒーメニューを抽出する


### 1 カップを置き、抽出口を下げてカップに近づける

※ 抽出口をカップの壁面に近づけるほどコーヒーがクリーミーになります。

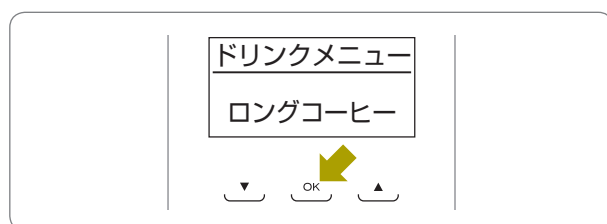


### 2 を押してコーヒーの濃さを選ぶ (14 ページ)

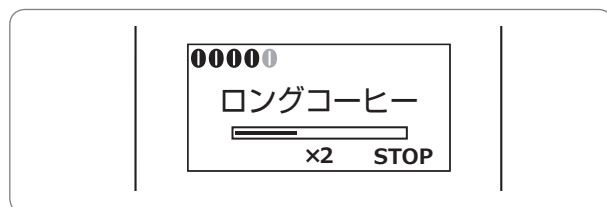
※ コーヒー豆からいれるときは、 (コーヒーパウダー) を選ばないでください。



※  を押してからしばらく経過すると、初期設定で抽出します。

### 3 を押し、 または を押し、メニューを選択し、 を押し、抽出する



選択したメニューが表示され、進み具合をインジケーターでお知らせします。



- 途中で止めたいときは、抽出中に  または  を押します。
- 抽出量を増やしたいときは、抽出終了後2秒以内に再度同じボタンを押すと、押している間コーヒーが抽出されます。ボタンを離すと抽出が止まります。

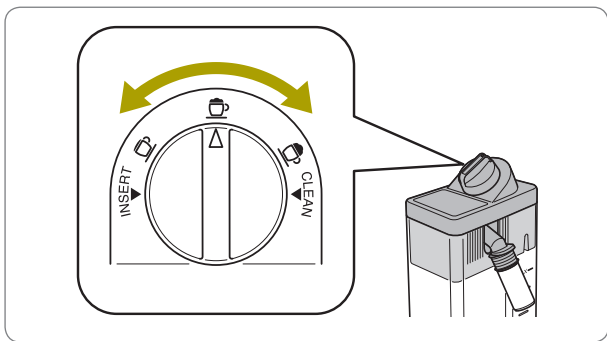
- エスプレッソ、エスプレッソラージ、ロングコーヒーはそれぞれ「×2」のメニューを選択すると、2杯抽出できます。
- ※ 2杯抽出の場合、左右のカップに入るコーヒーの量に多少の差が生じることがあります。
- ※ スペシャルティ、カフェ・ジャポネ、ドッピオ+ は、2杯抽出できません。



## ミルクメニューを抽出する

**1** 「カプチーノの作りかた」 **1**～**3**を参照してミルクコンテナをセットする (18 ページ)

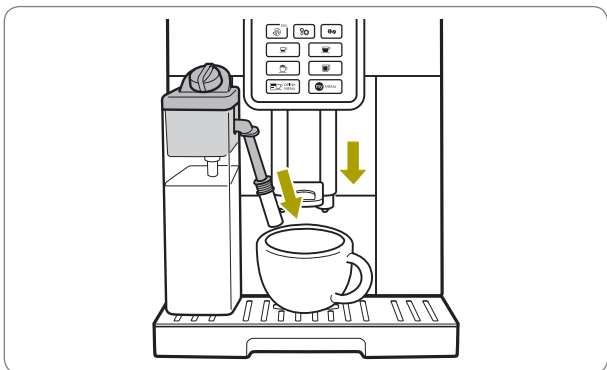
**2** ミルクコンテナのふたにある「フロス調整つまみ」の位置を抽出するメニューに合わせて調整する



←—————→		
泡が小さい (ミルク温度が低い)		泡が大きい (ミルク温度が高い)
スチーム ミルク	フロスマルク ※無段階で調整できます。	
カフェラテ ミルク (泡少なめ)	ラテマキアート フラットホワイト	カプチーノ ミルク (泡多め)

※ 上記を目安に、お好みに応じてフロス調整つまみを調整してください。

**3** カップを置き、ミルクノズルと抽出口を下げてカップに近づける

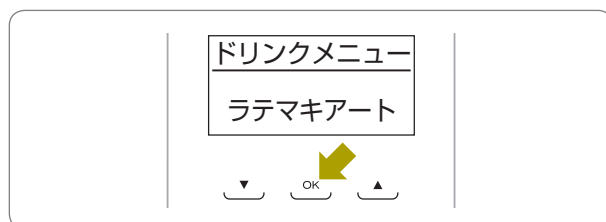


**4** を押し、コーヒーの濃さ、または「コーヒーパウダー」を選ぶ

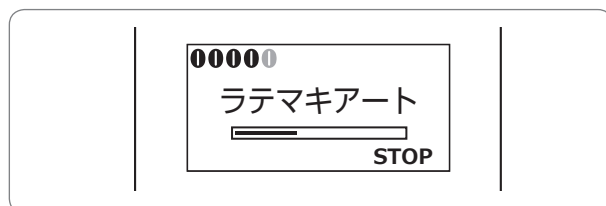
※ コーヒー豆から抽出する場合は、15 ページの手順 **2** をご覧ください。

※ コーヒー粉から抽出する場合は、17 ページの手順 **3** をご覧ください。

**5** を押し、 または を押し、メニューを選択し、 を押し、抽出する



選択したメニューが表示され、進み具合をインジケータでお知らせします。




※ 牛乳は 1 回あたり 250mL 以上抽出しないでください。

- 途中で止めたいときは、抽出中に を押します。

「ツマミヲ CLEAN ニアワセル」と表示されたら、毎回必ずミルクノズルの洗浄をしてください。(20 ページ)

# プログラムモード

を押して、プログラムモードに切り替えます。

プログラムモードを終了するときは、「メニューヲエラブ」と表示されるまで を押します。

## プログラムモードのメニュー一覧

メニュー	ディスプレイ表示 (日本語)	内 容	説明ページ
言語の設定	ゲンゴセッテイ	液晶ディスプレイの表示言語を設定します。	27
メンテナンス	メンテナンス	マシンのメンテナンスを行います。	—
石灰の除去	ジョセッカイ	石灰の除去を行います。	36
ウォーターフィルターの設定	フィルターヲセット フィルターコウカン フィルターヲハズス	ウォーターフィルターの交換や取り付け・取り外しを行うときに設定します。	セット…11 コウカン/ ハズス…27
メニュー設定 (定量設定)	メニューセッテイ	エスプレッソラージ、ロングコーヒー、ドッピオ+、ラテマキアート、カフェラテ、フラットホワイト、ミルク、エスプレッソ×2、エスプレッソラージ×2、ロングコーヒー×2、給湯の定量設定をします。	21
マイメニュー設定	マイメニューセッテイ	マイエスプレッソ、マイスペシャルティ、マイエスプレッソラージ、マイロングコーヒー、マイドッピオ+、マイカプチーノ、マイカフェ・ジャポネ、マイラテマキアート、マイカフェラテ、マイフラットホワイト、マイミルクの定量設定や変更をします。	22 28
一般	イッパン	マシンの設定をします。	—
抽出温度の設定	オンドセッテイ	コーヒーを抽出するときのお湯の温度を4段階で設定します。	23
水硬度の設定	ミズコウドセッテイ	水硬度レベルを設定します。	28
オートオフの設定	オートオフ	何も操作しない時間が続いたときに、自動的に本体の電源が切れるまでの時間を設定します。	28
節電機能の設定	セツデンモード	操作していないときの消費電力を抑える節電機能の入/切を設定します。	29
操作音 (ビープ音) の設定	ソウサカクニンオン (ビープ)	操作確認音の入/切を設定します。	29
定量設定・マイメニューのリセット	メニューリセット	コーヒーの濃さや抽出量などを初期設定値に戻します。	29
プログラムのリセット	プログラムリセット	設定を工場出荷時の初期設定値に戻します。	30
使用履歴の表示	ソウサリレキ	抽出したコーヒーの杯数や石灰除去を行った回数などの累計を表示します。	30

## 言語の設定（ゲンゴセッテイ）

ディスプレイに表示される言語を、日本語または英語に設定します。

手順	ディスプレイ表示
1.  を押し、プログラムモードにする	<u>セッテイ</u> ゲンゴセッテイ
2.  または  を押して「ゲンゴセッテイ」を選択し、 を押して確定する	<u>セッテイ</u> ゲンゴセッテイ
3.  または  を押して設定したい言語を選択し、 を押して確定する	<u>ゲンゴセッテイ</u> または <u>ゲンゴセッテイ</u> ニホンゴ English

## ウォーターフィルターの設定（フィルターコウカン）

フィルター交換が必要なときに設定します。（11 ページ）

手順	ディスプレイ表示
1. 「ウォーターフィルターの取り付けかた」 <a href="#">1</a> ～ <a href="#">6</a> を参照して、新しいフィルターと水を水タンクに入れる（11 ページ）	
2.  を押し、プログラムモードにする	<u>セッテイ</u> ゲンゴセッテイ
3.  または  を押して「メンテナンス」を選択し、 を押して確定する	<u>セッテイ</u> メンテナンス
4.  または  を押して「フィルターコウカン」を選択し、 を押して確定する	<u>メンテナンス</u> フィルターコウカン
5. 「OK デスカ?」と表示されたら、 を押す	<u>フィルターコウカン</u> OK デスカ?
6. 「フィルターリセット キュウトウ OK デスカ?」と表示されたら、容量 500mL 以上の容器を給湯ノズルの下に置き、 を押す 給湯ノズルからお湯が出ます。 給湯が終わり「ヨネツチュウ シバラクオマチクダサイ」→「メニューアエラフ」と表示されたら完了です。	<u>フィルターリセット</u> キュウトウ OK デスカ?

## ウォーターフィルターの設定（フィルターヲハズス）








フィルターを取り外すときに設定します。

手順	ディスプレイ表示
1. フィルターを取り外してから  を押し、プログラムモードにする	<u>セッテイ</u> ゲンゴセッテイ
2.  または  を押して「メンテナンス」を選択し、 を押して確定する	<u>セッテイ</u> メンテナンス
3.  または  を押して「フィルターヲハズス」を選択し、 を押して確定する	<u>メンテナンス</u> フィルターヲハズス
4. 「OK デスカ?」と表示されたら、 を押す	<u>フィルターヲハズス</u> OK デスカ?

# プログラムモード (つづき)












## マイメニュー設定 (マイメニューセッテイ)

マイメニューボタンにあるメニューについて、お好みの濃さと抽出量の設定と変更ができます。

手順	ディスプレイ表示
1.  を押し、プログラムモードにする	セッテイ ゲンゴセッテイ
2.  または  を押して「マイメニューセッテイ」を選択し、  を押して確定する	セッテイ マイメニューセッテイ
3.  または  を押して設定したいマイメニューを選択し、  を押して確定する	マイメニューセッテイ マイスペシャルティ
4. 22 ページ「マイメニューを設定する」3～5の手順で設定する	

## 水硬度の設定 (ミズコウドセッテイ)











初期設定は、レベル 1 に設定されています。レベル 2 以上のときは以下の手順で設定してください。

手順	ディスプレイ表示
1.  を押し、プログラムモードにする	セッテイ ゲンゴセッテイ
2.  または  を押して「イッパン」を選択し、  を押して確定する	セッテイ イッパン
3.  または  を押して「ミズコウドセッテイ」を選択し、  を押して確定する	イッパン ミズコウドセッテイ
4.  または  を押して水硬度レベルを選択し、  を押して確定する	ミズコウドセッテイ ゲンザイ：レベル 1 ヘンコウゴ：レベル 2 

## オートオフの設定 (オートオフ)

初期設定は、使用しない時間が長く続いた場合、2 時間後に自動的に電源が「切」になるように設定されています。この電源が切れるまでの時間を変更できます。

※ オートオフ機能は解除できません。

手順	ディスプレイ表示
1.  を押し、プログラムモードにする	セッテイ ゲンゴセッテイ
2.  または  を押して「イッパン」を選択し、  を押して確定する	セッテイ イッパン
3.  または  を押して「オートオフ」を選択し、  を押して確定する	イッパン オートオフ
4.  または  を押して電源「切」までの時間を選択し、  を押して確定する	オートオフ ゲンザイ：2 ジカンゴ ヘンコウゴ：15 フンゴ



# プログラムモード (つづき)

## プログラムのリセット (プログラムリセット)

設定を初期設定の状態に戻します。

手順	ディスプレイ表示
1.  を押し、プログラムモードにする	セッテイ ゲンゴセッテイ
2.  または  を押して「イッパン」を選択し、 を押して確定する	セッテイ イッパン
3.  または  を押して「プログラムリセット」を選択し、 を押して確定する	イッパン プログラムリセット
4.  を押して確定する 「リセットカンリョウ」と表示されます。	プログラムリセット OK デスカ?

※使用履歴の表示はリセットされません。

## 使用履歴の表示 (ソウサリレキ)

コーヒーを抽出した杯数、使用水量の累計 (リットル)、石灰の除去を行った回数を表示します。

手順	ディスプレイ表示												
1.  を押し、プログラムモードにする	セッテイ ゲンゴセッテイ												
2.  または  を押して「ソウサリレキ」を選択し、 を押して確定する	セッテイ ソウサリレキ												
3.  または  を押して、累計表示したい項目を選択する													
<table border="1"><thead><tr><th>コーヒーを抽出した杯数</th><th>ミルクメニューを抽出した杯数</th><th>使用水量の累計 (リットル)</th><th>石灰の除去を行った回数</th><th>フィルターを交換した回数</th><th>ミルクノズルの洗浄をした回数</th></tr></thead><tbody><tr><td>コーヒー ハイスイ</td><td>ミルクメニューハイスイ</td><td>シヨウスイリョウ (リットル)</td><td>ジョセツカイ カイスウ</td><td>フィルターコウカンカイスウ</td><td>ハンイセンジョウカイスウ</td></tr></tbody></table>	コーヒーを抽出した杯数	ミルクメニューを抽出した杯数	使用水量の累計 (リットル)	石灰の除去を行った回数	フィルターを交換した回数	ミルクノズルの洗浄をした回数	コーヒー ハイスイ	ミルクメニューハイスイ	シヨウスイリョウ (リットル)	ジョセツカイ カイスウ	フィルターコウカンカイスウ	ハンイセンジョウカイスウ	
コーヒーを抽出した杯数	ミルクメニューを抽出した杯数	使用水量の累計 (リットル)	石灰の除去を行った回数	フィルターを交換した回数	ミルクノズルの洗浄をした回数								
コーヒー ハイスイ	ミルクメニューハイスイ	シヨウスイリョウ (リットル)	ジョセツカイ カイスウ	フィルターコウカンカイスウ	ハンイセンジョウカイスウ								
↓ 累計が表示されます。													

本製品は工場ですべてに 1 台 1 台抽出試験を行って出荷されています。そのため初めてお使いになる場合でも、数杯～数十杯分のコーヒー抽出杯数の履歴が残っていることがあります。ご了承ください。



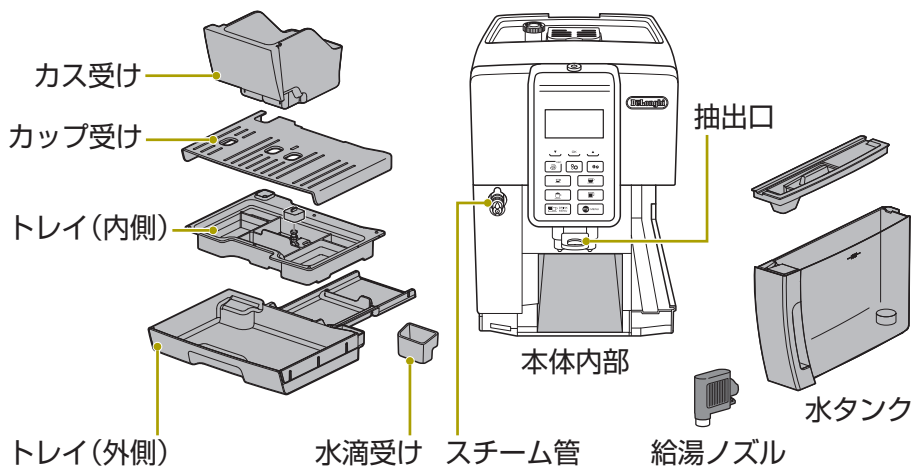
# お手入れ

いつも清潔な状態で使用するために、こまめにお手入れすることをおすすめします。

## 1日の終わりに

コーヒーマシンを使用した日の最後にするお手入れです。

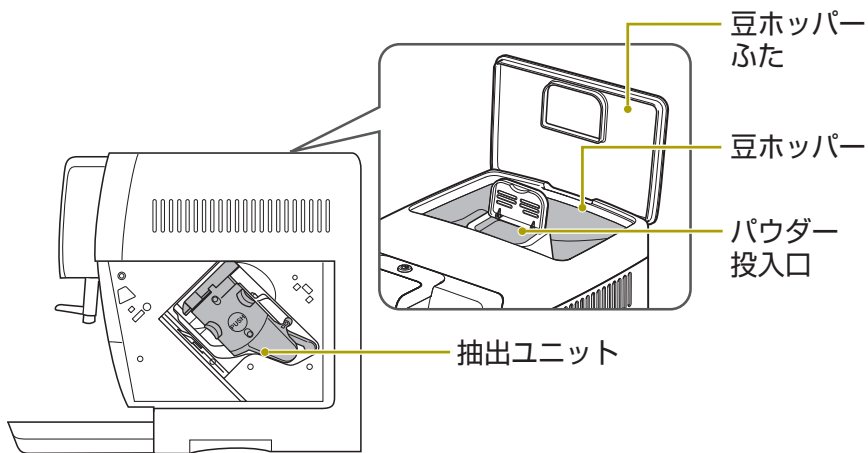
(32～34 ページ)



## 1カ月に1回

長期間（1週間以上）使用しなかった場合も同じお手入れをしてください。

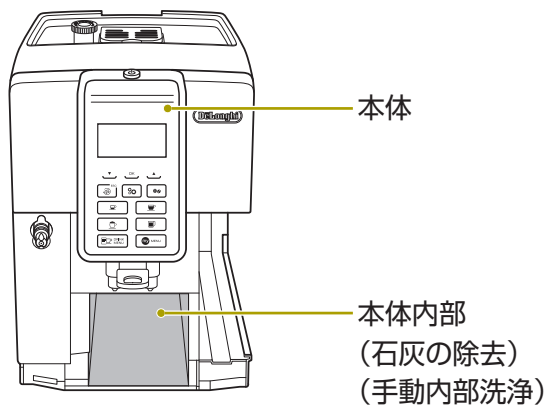
(35 ページ)



## 必要なときに

ディスプレイに [アイコン] が表示されたときなど、必要に応じてお手入れをしてください。

(36、37 ページ)



### 準備するもの



● クリーニングブラシ



● コーヒーマシン用除石灰剤

- 布巾
- キッチン用除菌スプレー
- 先の柔らかいブラシ
- 爪楊枝

# お手入れ(つづき)

特に指示がない限り、電源を切り、本体背面の主電源スイッチを切ってから、お手入れしてください。



- お手入れは必ず各部が冷えてから行う(やけど、けがの原因)
- 本体や電源プラグ・コードに水をかけない(火災、感電の原因)
- ベンジン・シンナー・アルコール・研磨剤・漂白剤は使わない(傷、変色の原因)
- たわし類・メラミンスポンジは使わない(傷の原因)
- 食器洗い機・食器乾燥機は使わない(変形の原因)

## 1日の終わりにするお手入れ

### トレイ、カップ受け、カス受け、水滴受け

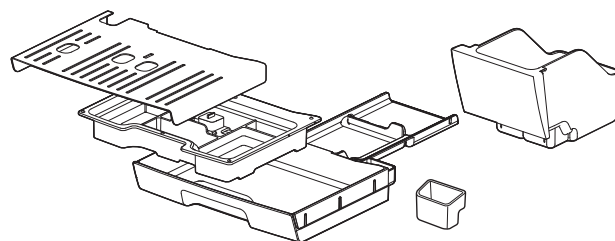
水洗い、乾燥

- ① 電源を入れた状態でトレイを引き出す  
※ 抽出杯数を自動カウントしているため、必ず電源が入っている状態でカス受けを取り外してください。
- ② カス受けのカスを捨ててから、本体にトレイごと戻す



カス受けの取り扱いにご注意ください。  
• 背面の突起が破損すると、カス受けが認識されない原因になります。

- ③ 電源を切り、本体からトレイを引き出してそれぞれ水洗いする
- ④ 乾いたら、本体に戻す  
※ 「カスウケヲカラニスル」と表示されたら、満杯になっていなくてもカスを捨ててください。



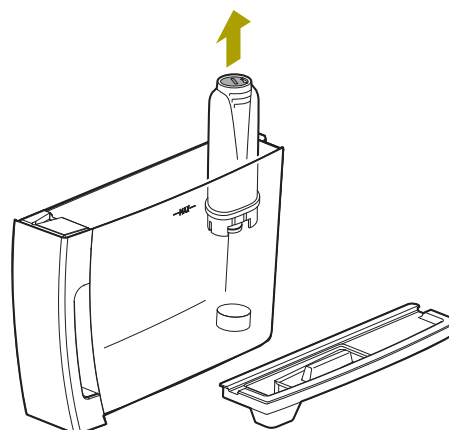
### 水タンク

水洗い、乾燥

- ① 水タンクを取り外し、ウォーターフィルターは取り外して流水ですすぐ
- ② 水タンクは食器用洗剤で洗い、よくすすいで乾かす  
※ フィルターは洗剤で洗わないでください。
- ③ ウォーターフィルターを水タンクに戻し、水を入れて本体に戻す  
※ フィルターから水が抜けたときは、水に浸してしっかり空気を抜いてから水タンクに戻してください。
- ④ 電源を入れて、100mL 程度給湯する



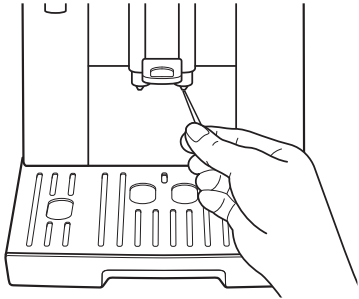
水タンクの取り扱いにご注意ください。  
• 背面の給水口が破損すると水漏れの原因になります。  
• 背面の突起が破損すると、水タンクが認識されない原因になります。  
• 水タンク内の部品が外れないようご注意ください。動作不良の原因になります。



## 抽出口

水洗いできません

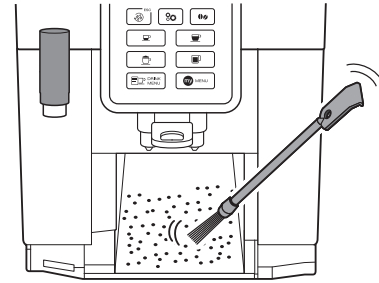
固く絞った濡れ布巾で拭きます。抽出口が詰まっている場合は爪楊枝などを使って取り除きます。



## 本体内部

水洗いできません

本体内部のコーヒー粉は、付属のクリーニングブラシや固く絞った濡れ布巾を使って取り除いてください。

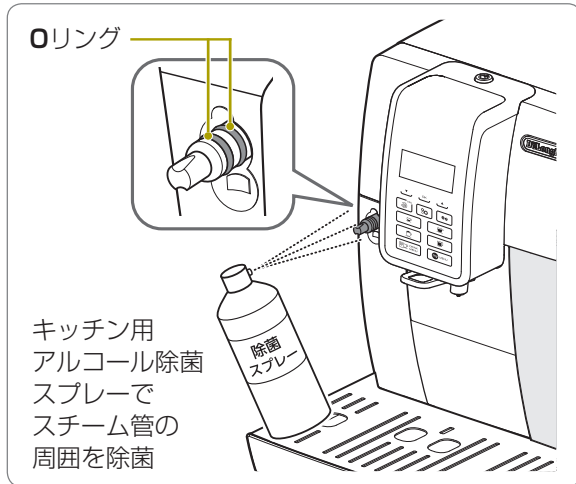


## スチーム管 給湯ノズル

水洗いできません

水洗い、乾燥

### ① スチーム管の周囲を掃除する



※ 先の細い柔らかいブラシで掃除し、固く絞った濡れ布巾で、スチーム管とOリングを丁寧に拭いてください。

### ② スチーム管の穴を掃除する

爪楊枝などを使って、先端の穴をきれいにします。

### ③ 給湯ノズルを取り付け、お湯を出して洗浄する (23 ページ)

※ 電源を入れた状態で行います。

### ④ 給湯が止まったら、給湯ノズルを取り外し水洗いする



給湯ノズル内に少量のお湯が残りますので、やけどにご注意ください。

Oリングが破損していると、牛乳がきれいに泡立ちません。破損した場合は、当社へご連絡ください。(42 ページ)

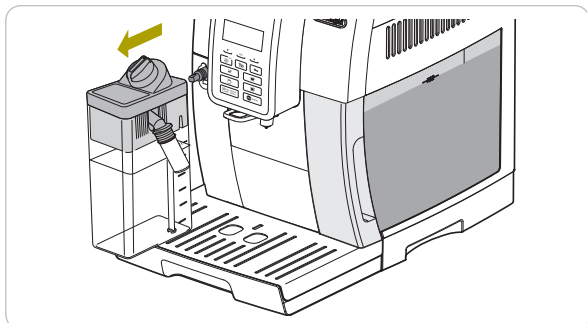
# お手入れ(つづき)

## ミルクコンテナ

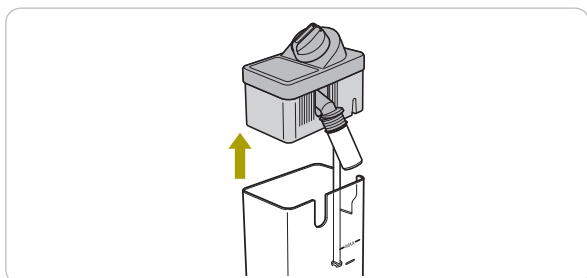
水洗い、乾燥

1日の使用が終わったら、ミルクコンテナを取り外して洗浄します。

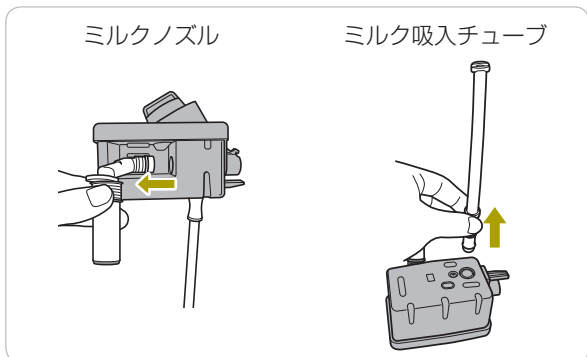
### ① ミルクコンテナを取り外す



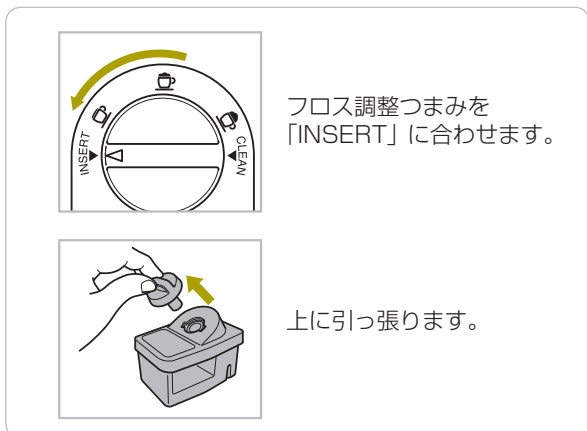
### ② ミルクコンテナのふたを取り外す



### ③ ミルクコンテナのふたからミルクノズルとミルク吸入チューブを取り外す



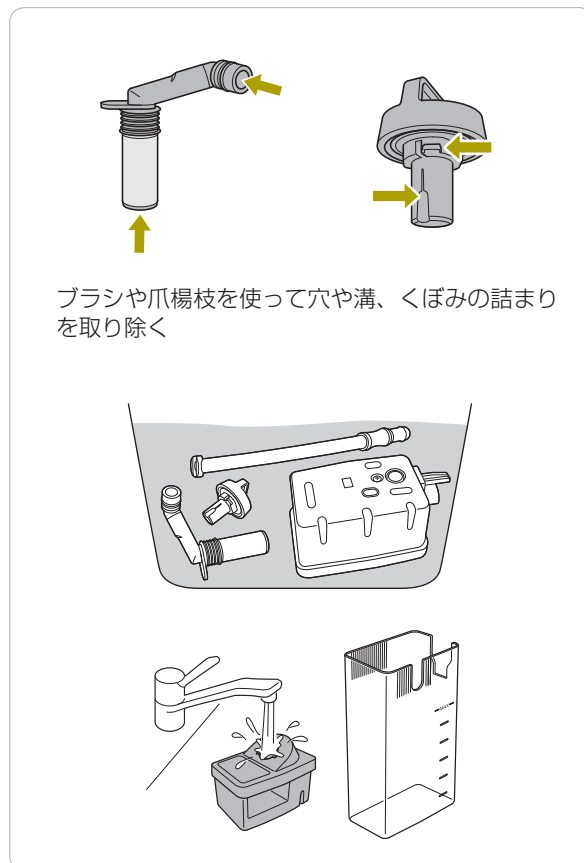
### ④ ミルクコンテナのふたからフロス調整つまみを取り外す



### ⑤ めるま湯と食器用洗剤でよく洗う

食器用洗剤を溶かしたぬるま湯に部品を浸けて洗浄します。ミルクコンテナ本体は、食器用洗剤を使って、水洗いします。

矢印(→)で示されている穴や溝、くぼみが詰まらないように、特によく洗ってください。その後、よくすすぎ、各部品に洗剤が残らないようにしてください。



ブラシや爪楊枝を使って穴や溝、くぼみの詰まりを取り除く

### ⑥ 乾いたら、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみをふたに戻す

取り外したときと逆の要領で、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみをふたに取り付けます。

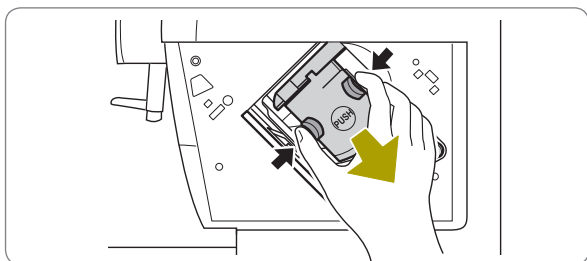
### ⑦ ふたをミルクコンテナに戻す

## 1 月に 1 回するお手入れ

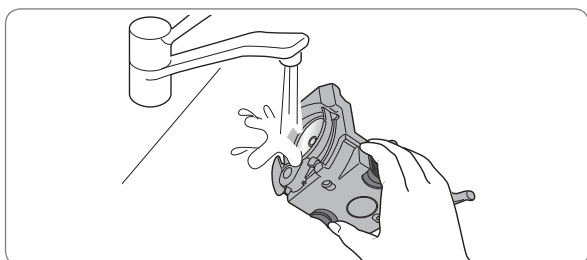
### 抽出ユニット

水洗い、乾燥

- ① 電源が切れていることを確認する
- ② 水タンクを取り外して、抽出ユニットふたを開ける
- ③ 抽出ユニットの赤いボタン（2箇所）をつまみながら、手前に引いて取り出す

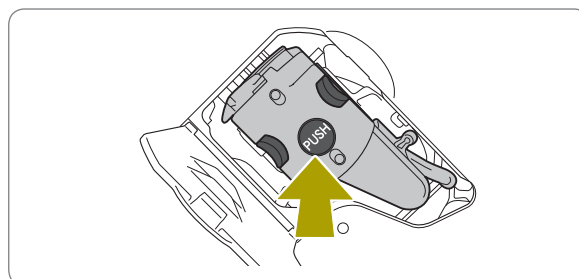
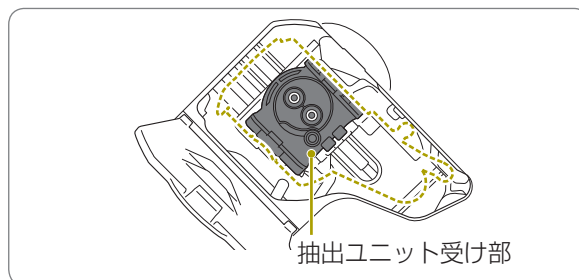


- ④ 抽出ユニット上部を流水で洗う  
フィルター部分、コーヒーカスを払い落とすレバーの周りなどに残ったコーヒー粉を洗い流します。



洗剤を使ったり、食器洗い機で洗ったり、水に浸けたりしないでください。  
(故障の原因)

- ⑤ 付属のクリーニングブラシで、抽出ユニット受け部周辺のカスを取り除く
- ⑥ 抽出ユニットが乾いたら、抽出ユニット受け部にはめて、「PUSH」と表示されているところをカチッと音がするまで押し、しっかりとめ込むはめ込みにくい場合は、赤いボタンを軽くつまみながらはめ込んでください。



はめ込んだ後に、赤いボタンが凹んだままになっている場合は、抽出ユニットが正しく取り付けられていません。一旦取り出してから、しっかりと取り付け直してください。

- ⑦ 抽出ユニットふたを閉め、水タンクを取り付ける

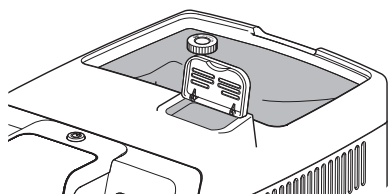
### 抽出ユニットの伸縮動作が固くなってきたら

銀色のフィルター部分を指で押し込んだときの伸縮動作が固くなってきたら、抽出ユニット用グリースを塗布してください。そのまま使用を続けると故障の原因となります。

※抽出ユニット用グリースは販売店または当社オンラインショップでお求めください。(41 ページ)

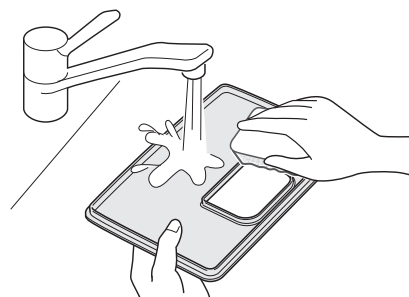
### 豆ホッパー、パウダー投入口 水洗いできません

豆ホッパーは、乾いた布巾で拭いてください。パウダー投入口のコーヒー粉は、付属のクリーニングブラシで取り除いてください。



### 豆ホッパーふた 水洗い、乾燥

水洗いした後、よく乾かしてから本体に戻します。



# お手入れ(つづき)

## 必要なときに行うお手入れ






### 石灰の除去

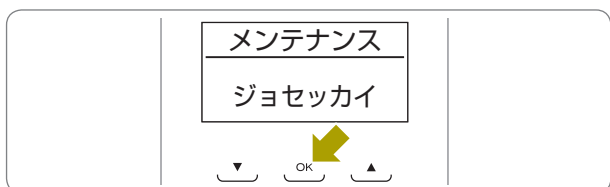
☰の表示が出たら

※石灰の除去作業(所要時間 45分程度)は中断できません。時間の余裕をもって行ってください。

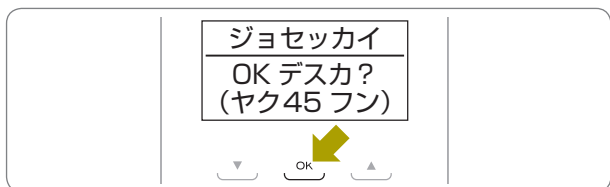
ご使用にともない、水の石灰質が徐々に内部管などに付着していきます。そのまま使用を続けると故障の原因になります。以下の手順に従い、付属のコーヒーマシン用除石灰剤で、石灰の除去を行ってください。除石灰剤の取扱説明書もお読みください。除石灰剤は、お求めの販売店または当社オンラインショップ(41ページ)でお求めください。



#### 1. 準備

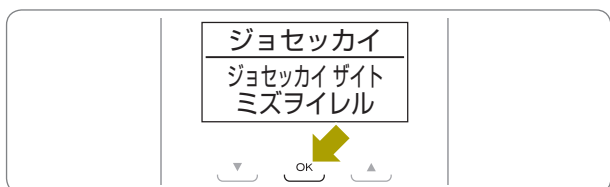
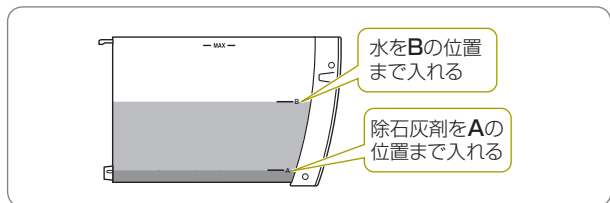
- ① 電源を入れ、スチーム管に給湯ノズルを取り付ける
- ②  を押してプログラムモードにする
- ③  または  を押して「メンテナンス」を選択し、 を押す
- ④ 「ジョセックイ」を選択し、 を押す



- ⑤ 再度  を押す




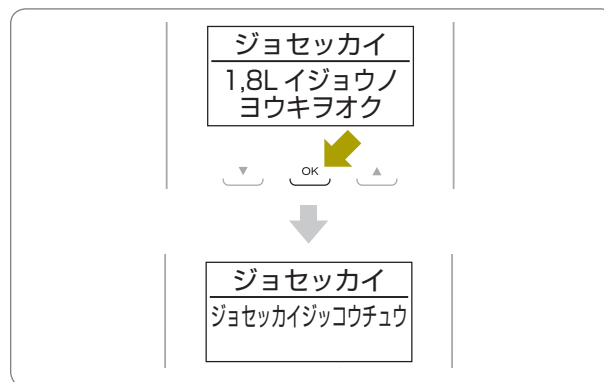
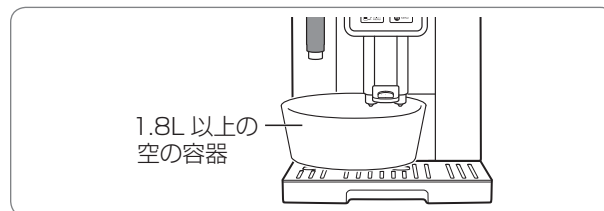
- ⑥ 「フィルターヲハズス」と表示されたらウォーターフィルターを取り外し、 を押す
- ⑦ 水タンクを空にして除石灰剤を水タンクの「A」の位置まで入れた後、水を「B」の位置まで入れ、水タンクを取り付けたら  を押す



- ⑧ トレイを取り出し、水を捨てて元に戻し  を押す

#### 2. 洗浄

- ⑨ 給湯ノズルと抽出口の下に 1.8L 以上の空の容器を置き、 を押して洗浄を開始する




抽出口からお湯が排出された後、給湯ノズルから断続的にお湯が排出されます。石灰の除去中は、自動でお湯が出たり止まったりします。

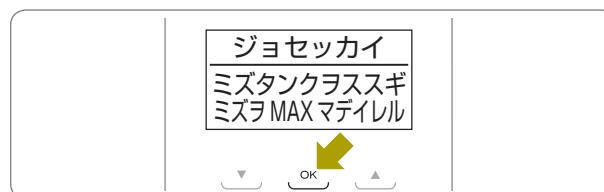
※しばらく動作が停止するときがありますが、そのままお待ちください。

約 35 分後、「ミズタンクヲススギ ミズヲ MAX ママイルル」と表示され洗浄が完了します。

#### 3. すすぎ

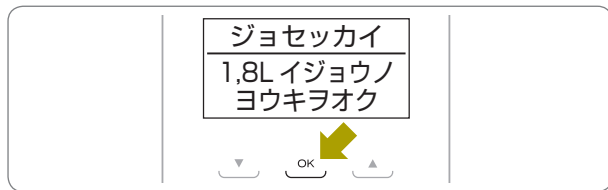
- ⑩ 水タンクを外して水でよくすすぎ、「MAX」の位置まで新しい水を入れて本体に取り付け、 を押す

※ 除石灰剤は入れないでください。

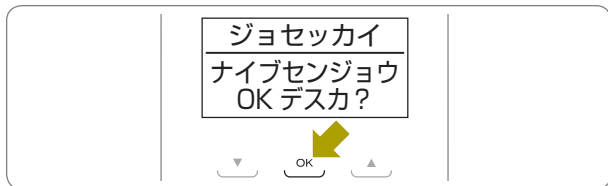




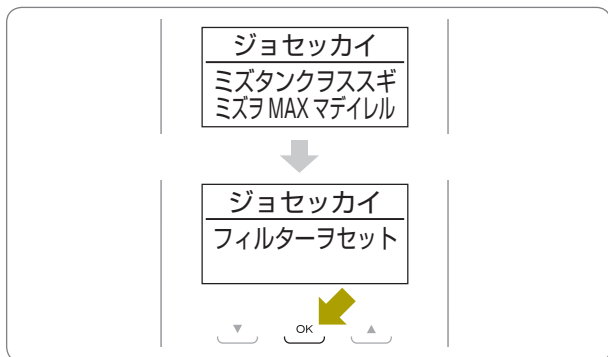
① 給湯ノズルと抽出口の下に置いた容器を空にし、再度給湯ノズルと抽出口の下に置き、**OK** を押す



② 再度 **OK** を押し、1 回目のすすぎを開始する



③ 「ミズタンククラスギ ミズヲ MAX マデイレル」と表示されたら⑩～⑫を繰り返して、2 回目のすすぎを開始する



2 回目ではウォーターフィルターを取り付けて、すすぎを行ってください。「フィルターヲセット」と表示されたら、**OK** を押してください。水が排出され、水タンクの水がなくなると、「トレイヲカラニスル」と表示されすすぎが完了します。

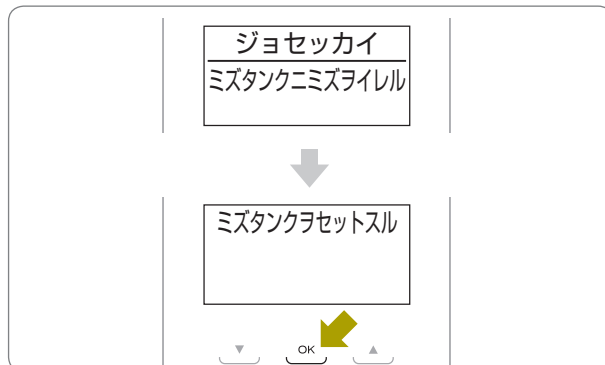
④ トレイを取り出し、水を捨てて元に戻し **OK** を押す



⑤ 再度 **OK** を押し、除石灰を完了する



水タンクに水を入れると、抽出が可能になります。



- ※ 容器の水は捨ててください。
- ※ 石灰の除去を行った後は、カス受けに水が溜まる場合がありますが異常ではありません。
- ※ 水を MAX の位置まで入れていない場合、3 回目のすすぎが必要になる場合があります。

■ が消えない場合、何らかの原因で石灰除去が完了していません。その場合は、水だけで石灰の除去を繰り返し行ってください。

### ヒント 石灰除去の頻度について

石灰除去の頻度は、設定した水の硬度によって異なります。水硬度のレベルが低い（軟水）と少なくなり、高い（硬水）と石灰分が付着しやすくなるため多くなります。

水硬度レベル	1	2	3	4
石灰除去の頻度	少ない (軟水)	←————→		多い (硬水)

### 手動内部洗浄

必要に応じて

手動で内部洗浄を行って、コーヒー抽出経路を洗浄します。(23 ページ)

※ 抽出用にミネラルウォーターや浄水器の水をご使用の場合、週に 1 度、水道水を使った内部洗浄を数回行うことをおすすめします。水道水の残留塩素で、洗浄効果が高まります。

### 本体表面、電源プラグ・コード

必要に応じて

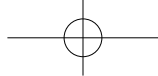
汚れたときは、固く絞った濡れ布巾で拭きます。汚れがひどい場合は、少量の食器用洗剤をつけた布で拭いてから、濡れ布巾で洗剤をよく拭き取ってください。



※ 水洗いできません。

# 表示一覧

ディスプレイの表示の意味と対処方法を説明します。

表 示	説 明	対処のしかた
ミズタンクニ ミズヲ イレル	水タンクの水が不足しています。	水タンクに水を入れ、しっかり本体に取り付けてください。
ミズタンクヲ セットスル	水タンクが正しく取り付けられていません。	水タンクをしっかり本体に押し込んでください。水タンク背面上部の突起が破損していないか確認してください。
カスウケヲ カラニスル	カス受けがいっぱいになっています。	コーヒーカスを捨ててください。 ※ カス受けが満杯になっていなくても、メッセージが表示されたら必ずカスを捨ててください。
カスウケヲ セットスル	カス受けが正しく取り付けられていません。	カス受けを正しい位置に取り付けてください。カス受け背面下部の突起が破損していないか確認してください。
コーヒーパウダーヲ イレル ESC: キャンセル	コーヒー粉が入っていない状態で、コーヒー粉からの抽出が選択されています。	コーヒー粉をパウダー投入口に入れる、または  でコーヒー粉からの抽出選択を取り消してください。(17 ページ)
	カフェ・ジャポネの抽出中に2回目のコーヒー粉を入れる状態です。	コーヒー粉をパウダー投入口に入れ、  を押してください。(17 ページ)
マメホッパーニ コーヒーマメヲ イレル	豆ホッパーのコーヒー豆がなくなりました。	豆ホッパーにコーヒー豆を入れてください。
	パウダー投入口(内部)が詰まっています。	付属のクリーニングブラシでパウダー投入口の清掃を行ってください。(35 ページ)
マメリユウド エラー グラインダーヲ アラメニ チョウセイ ESC: キャンセル	豆の挽き具合(粒度)が細かすぎて、抽出が遅い(またはされない)状態です。	グラインダーノブを粗いほう(時計回り)に1目盛回してください。(16 ページ)
	本体の水経路に空気が入り、抽出されない状態です。(ウォーターフィルター取り付け時)	給湯ノズルを取り付け、お湯を出してください。(23 ページ)
パウダー/マメリヨウ チュウイ	コーヒー豆の量が多すぎます。	コーヒー豆の量を少なく調整してください。(14 ページ)
	コーヒー粉の量が多すぎます。	コーヒー粉の量を減らしてください。(17 ページ)
キュウトウノズルヲ セットスル	給湯ノズルが本体に正しく取り付けられていません。	給湯ノズルをしっかり本体に取り付けてください。
ミルクコンテナヲ セットスル	ミルクコンテナが本体に正しく取り付けられていません。	ミルクコンテナをしっかり本体に取り付けてください。
チュウシュツユニットヲ セットシテクダサイ	抽出ユニットが取り付けられていません。	抽出ユニットを取り付けてください。(35 ページ)
クウキヌキガヒツヨウデス キュウトウヲ シテクダサイ OK デスカ?	本体の水経路に空気が入っている状態です。	 を押して給湯してください。それでも表示される場合は、水タンクがしっかり本体に取り付けられているか確認してください。
ツマミヲ CLEAN ニアワセル ESC: キャンセル	ミルクノズルを洗浄してください。	フロス調整つまみを「CLEAN」に合わせる、または  で取り消してください。(20 ページ)
ツマミガ CLEAN ノママ フロスチョウセイツマミヲマウス	フロス調整つまみを「CLEAN」の位置に合せている状態です。	フロス調整つまみを「CLEAN」の位置から、  ~  の間に戻してください。(20 ページ)
		すぐに石灰を除去する場合は、  を押して石灰の除去を行ってください。(36 ページ)
ジョセツカイ ESC: キャンセル OK: カイシ (ヤク 45 フン)	石灰の除去が必要です。 石灰を除去してください。	あとで石灰を除去する場合は、  を押してください。 石灰を除去するまで、  が表示されます。



表示	説明	対処のしかた
		
フィルターコウカン ESC：キャンセル コウカン OK	ウォーターフィルターの交換が必要です。	ウォーターフィルターを交換、または取り外してください。(11、27 ページ)
エラー！トリアツカイセツメイシヨラカクニン	抽出ユニットの動作不良などが考えられます。	① 本体背面の主電源スイッチを一旦「切」にし、約 5 秒後に再度「入」にする。 ② 抽出ユニットを取り付け直す。 上記手順を行っても解決されない場合は、当社までご相談ください。(42 ページ)
	ミルク吸入チューブのお手入れが必要です。	フロス調整つまみを「CLEAN」に合わせてください。
ECO	節電機能が「入」に設定されています。	節電機能を「切」にするには、29 ページの説明に従って設定します。

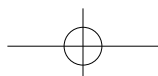
## 故障かな？

以下を確認しても正常に動かない場合は、当社（42 ページ）へご連絡ください。

症状	考えられる原因	対処のしかた
コーヒーがぬるい	エスプレッソの温度は 67 ~ 70℃前後が理想とされています。一般的なドリップコーヒー（85℃前後）と比べてぬるく感じるがありますが、異常ではありません。	
	カップが温まっていない	給湯機能を使ってカップを湯煎してください。(23 ページ)
	本体内部が温まっていない	手動内部洗浄を行い、本体内部を温めてください。(23 ページ)
	抽出温度の設定が低い	抽出温度を「レベル 3」や「レベル 4」に設定してください。(23 ページ)
コーヒーがクリーミーでない (クレマがない/少ない)	からの抽出豆 コーヒー豆の挽き具合が粗すぎる	グラインダーノブを細かいほう（反時計回り）に 1 目盛回してください。(16 ページ)
	からの抽出豆 適切な豆を使用していない	新鮮なエスプレッソ用の豆を使用してください。(13 ページ)
抽出が早すぎる	からの抽出粉 コーヒー粉の量が少なすぎる	コーヒー粉の量を増やしてください。 (最大：計量スプーン山盛り 1 杯)
	からの抽出粉 適切なコーヒー粉を使用していない	新鮮なエスプレッソ用の粉（極細挽き～細挽き）を使用してください。
抽出が遅い (ポタポタとしか抽出されない)	抽出口や抽出ユニットが目詰まりを起こしている	抽出口や抽出ユニットのお手入れをしてください。(33、35 ページ)
	からの抽出豆 挽かれたコーヒー豆の量が多すぎる	コーヒー豆の量を減らしてください。
	からの抽出豆 コーヒー豆の挽き具合が細かすぎる	グラインダーノブを粗いほう（時計回り）に 1 目盛回してください。(16 ページ)
	抽出されない	からの抽出粉 コーヒー粉の量が多すぎる
からの抽出粉 電源が「切」のときにコーヒー粉を投入した		内部に粉が飛び散るため、本体内部および抽出ユニットのお手入れを行ってから再度抽出してください。(33、35 ページ)
コーヒーが抽出されず、 「シバラクオマチクダサイ」と表示される	本体の水経路にコーヒーの微粉や石灰分などが入っている	抽出できるようになるまでお待ちください。しばらく経っても変わらない場合は、当社へご連絡ください。(42 ページ)

表示一覧

故障かな？



# 故障かな？(つづき)

症 状	考えられる原因	対処のしかた
コーヒーが片方の抽出口からしか出てこない	片方の抽出口が詰まっている	抽出口をお手入れしてください。(33 ページ)
	本体が水平に設置されていない	水平に設置してください。
⏻ ボタンを押しても電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	本体背面の主電源スイッチが「切」になっている	本体背面の主電源スイッチを「入」にしてください。(12 ページ)
お手入れの際、抽出ユニットが取り外せない	本体の電源が「入」の状態を取り外そうとした	抽出ユニットは、電源が「切」のときのみ取り外すことができます。本体の電源を「切」にしてから取り外してください。(35 ページ) ※ 無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。
石灰の除去をしても ☹️が表示される	洗浄やすすぎが完了していなかった	水だけで石灰の除去を繰り返し行ってください。(36 ページ) ※ 石灰の除去の際は、お湯の排出・停止を自動的に繰り返します。
	途中で電源を切った	
	2 回目のすすぎで、水タンクに MAX の位置まで水を入れなかった	トレイの水を捨ててから、マシンの指示に従い3 回目のすすぎを行ってください。
フロスマルクが適量出てこない	牛乳の通り道が詰まっている	ミルクコンテナやスチーム管、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみを洗浄してください。(33、34 ページ)
スチームが出てくる	ミルクコンテナに必要な分量の牛乳が入っていない	ミルクコンテナに必要な分量の牛乳を入れてください。(18、25 ページ)
牛乳の泡立ちが悪い II フォームミルクがうまくできない	鮮度、温度、種類ともに不適当な牛乳を使用している	新鮮で冷えた成分無調整/乳脂肪分 3.0%以上の牛乳を使ってください。
	ミルクコンテナやスチーム管、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみの穴が目詰まりしている	各部位をお手入れしてください。(33、34 ページ)
	スチーム管の O リングが破損または欠損している	当社へご連絡ください。(42 ページ)
	フロス調整つまみが ☹️ になっている	☹️ ~ ☹️ の間に設定してください。
大きな音がして抽出口からコーヒーなどが出ない	本体の水経路に空気が入っている	給湯機能でお湯を出してください。(23 ページ)
グラインダーにコーヒー豆が引き込まれない	油分の多いコーヒー豆を使用している	油分によって豆が豆ホッパーに付着してしまい、グラインダーに引き込まれないときは、豆ホッパーを乾いた布巾で拭いてください。
電源を「入」にした後に「カスウケヲ カラニスル」と表示される	カス受けのお手入れ後、最初のコーヒー抽出から 72 時間以上経過した	カス受けをお手入れしてください。 ※ 衛生のため、お手入れ後、最初のコーヒー抽出から約 72 時間後に「カスウケヲ カラニスル」が表示されます。本体背面の主電源スイッチを「切」にすると 72 時間のカウントはリセットされます。
カス受けをお手入れしても「カスウケヲ カラニスル」の表示が消えない	カスを捨ててからすぐにカス受けを取り付けた	10 秒程度待ってからカス受けを取り付けてください。

# 仕様

製品名称	デロンギ ダイナミカ コンパクト全自動コーヒーマシン		
型式番号	ECAM35055		
定格	電圧/周波数	100V / 50-60Hz	
	消費電力	1450W	
外形寸法 (約)	幅 240 × 奥行 445 × 高さ 360 (mm)		
質量 (約)	10kg		
水タンク容量	1.8L (MAX の目盛り)		
ミルクコンテナ容量	600mL		
豆ホッパー容量	300g		
豆量設定 (約)	1 杯抽出: 6~11g、2 杯抽出: 10~14g、スペシャルティ: 8~14g、 カフェ・ジャポネ: 5~9g(抽出量が 120mL 以下のとき)、 10~18g(初期設定または抽出量が 120mL を超えるとき)、 ドッピオ+: 15g		
コーヒー粉	使用可 (最大: 計量スプーン山盛り 1 杯分)		
コーヒー抽出量	メニュー	1 杯抽出時	2 杯抽出時
	エスプレッソ	初期設定 約 30mL (設定範囲 約 30 ~ 180mL)	初期設定 約 60mL (設定範囲 約 60 ~ 360mL)
	スペシャルティ	約 180mL (設定範囲 約 100 ~ 240mL)	—
	カフェ・ジャポネ	約 180mL (設定範囲 約 115 ~ 250mL)	—
	エスプレッソラージ	約 40mL (設定範囲 約 40 ~ 180mL)	約 80mL (設定範囲 約 80 ~ 360mL)
	ロングコーヒー	約 120mL (設定範囲 約 100 ~ 180mL)	約 240mL (設定範囲 約 200 ~ 360mL)
	ドッピオ+	約 120mL (設定範囲 約 80 ~ 180mL)	—
ミルクメニュー抽出量	メニュー	牛乳抽出量 (設定範囲 約 20 ~ 250mL)	コーヒー抽出量 (設定範囲 約 30 ~ 180mL)
	カプチーノ	初期設定 約 120mL	初期設定 約 30mL
	カフェラテ	初期設定 約 150mL	初期設定 約 30mL
	ラテマキアート	初期設定 約 150mL	初期設定 約 30mL
	フラットホワイト	初期設定 約 120mL	初期設定 約 60mL
	ミルク	初期設定 約 100mL	—
給湯量	初期設定 約 100mL (設定範囲 約 30 ~ 400mL)		
カス受け容量	最大 20 杯分		
ポンプ圧	15 気圧		
グラインダー	コーン式コーヒーマシン用グラインダー		
付属品	計量スプーン、コーヒーマシン用除石灰剤、水硬度チェッカー、クリーニングブラシ、 ウォーターフィルター		

※ 待機電力は約 0.3W です。

## 別売品

- ミルクコンテナ
- コーヒーマシン用除石灰剤
- 水硬度チェッカー
- 抽出ユニット
- 抽出ユニット用グリース
- バリスタキット(全自動コーヒーマシン用)
- ミルクジャグ
- ウォーターフィルター
- エコマルチクリーン

お求め方法 ▶ お買い上げの販売店または当社オンラインショップでお求めください。  
オンラインショップ URL ▶ <http://shop-casa-delonghi.com>

故障かな?  
(つづき)

仕様



# アフターサービス

## 1) 使用中に異常(★)が生じた場合

ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「表示一覧」「故障かな?」(38～39ページ)で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社(下記)にご相談ください。

- ――― ★以下のような場合には、点検および修理が必要です ―――
- |                              |                             |
|------------------------------|-----------------------------|
| ・使用中、電源プラグ・コード、コンセントが異常に熱くなる | ・電源プラグ・コードが変形、破損している        |
| ・本体に水などの液体をこぼした              | ・本体に強い衝撃を与えた                |
|                              | ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない |

## 2) 万一、故障/損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に

1. お買い上げ日 2. 製品名と型式番号 3. 故障の状況―――を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※修理品の送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

※修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記載したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封してください。

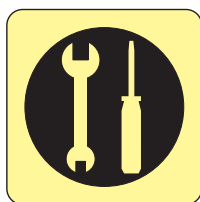
※本製品のメーカー保証範囲は保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります。(補修用性能部品保有期間内)

## 3) 補修用性能部品の保有期間について

当社では、このコンパクト全自動コーヒーマシンの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 4) まごころ点検について



保証期間(1年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(お預かり)をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、下記までお問い合わせください。

## 5) 再資源化システムについて

ご不要になった製品は、当社が費用を負担し、素材ごとに分別、再資源化いたします。

製品のお預かり方法など、再資源化のご相談は、下記までご連絡ください。



送料について：送料はお客様のご負担(元払い)となります。あらかじめご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または下記までお問い合わせください。

**デロンギ お客様サポートセンター**

(受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00)

Tel.0120-804-280 / Fax.0120-956-020

〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページでのお問い合わせ(URL) <http://www.delonghi.co.jp/support>



# 保証書

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。 **持込修理**

製品名：デロンギ ダイナミカ コンパクト全自動コーヒーマシン			
型式番号：ECAM35055			
お客様	ご氏名： _____ 様	TEL： _____	
	ご住所：〒 _____		
販売店	※店名・住所・TEL： _____		
※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日		保証期間：お買い上げ日より1年間	保証対象：本体

## 保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、本書と購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）をご準備の上、下記までご連絡ください。お買い上げ販売店独自の保証やその他サービスがある場合は販売店へご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入しているお買い上げの販売店にご相談ができない場合には、下記に直接ご連絡ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様の負担となりますので、ご了承ください。
  - イ. 本書のご提示がない場合
  - ロ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障・損傷
  - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障・損傷
  - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
  - ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障・損傷
  - ヘ. 購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）が無く、お買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

- ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合
- チ. 付属品および本体から取り外せる部品の破損・紛失

- 修理に際して代替部品に交換する場合があります。この場合、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 故障状態、その他の事情により、修理に代えて同機種での製品交換、または同等能力を有する他機種への交換となる場合があります。
- 故障によりお買い上げの製品が使用できないことによって生じた損害については補償いたしません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
  - この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
  - 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービス」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

切り取り線

アフターサービス

保証書

### デロンギ・ジャパン株式会社

TEL.0120-804-280 〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間とは変更することがありますのでご了承ください。

**DeLonghi**



5713247221\_00\_0520

DEI-200396